

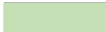
名桜大学学則及び履修規程の着色について

以下のとおり色分けしております。

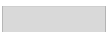
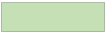
■中一種・高一種（英語）

- ・教科に関する専門的事項に関する科目： 
- ・教科に関する専門的事項に関する科目に該当しない、英語に関連する科目： 
- ・各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等： 

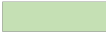
■高一種（地理歴史）

- ・教科に関する専門的事項に関する科目： 
- ・教科に関する専門的事項に関する科目に該当しない、地歴に関連する科目： 
- ・各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等： 

■高一種（商業）

- ・教科に関する専門的事項に関する科目： 
- ・教科に関する専門的事項に関する科目に該当しない、商業に関連する科目： 
- ・各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等： 

■高一種（情報）

- ・教科に関する専門的事項に関する科目： 
- ・教科に関する専門的事項に関する科目に該当しない、情報に関連する科目： 
- ・各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等： 

名桜大学学則（案）

（平成6年4月1日制定）

第1章 総則

第1節 目的

（目的）

第1条 本学は、教育基本法及び学校教育法に基づき深く専門の学芸を教授研究し、幅広い知識を授け、世界の文化の進展と人類の平和に貢献しうる人材を育成することを目的とする。

（自己点検・評価）

第1条の2 本学は、教育研究の質の向上を図り、本学の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について、点検及び評価を行うものとする。

2 自己点検・評価の結果は公表し、教育研究の質保証及び改善に努める。

3 自己点検・評価に関し必要な事項は、別に定める。

第2節 組織

（学部）

第2条 本学に次の学部を置く。

国際学部

人間健康学部

2 前項の学部に置く学科及びその入学定員、編入学定員、収容定員は、次のとおりとする。ただし、編入学定員は3年次定員とする。

学部	学科	入学定員	編入学定員	収容定員
国際学部	国際文化学科	180人	5人	730人
	国際観光産業学科	160人	5人	650人
人間健康学部	スポーツ健康学科	95人	5人	390人
	看護学科	80人	5人	330人
	健康情報学科	80人	5人	330人
計		595人	25人	2430人

3 前項に規定する国際学部各学科の入学定員中5人は外国人留学生とする。

（大学院）

第2条の2 本学に大学院を置く。

2 大学院に関する規程は、別に定める。

（助産学専攻科）

第2条の3 本学に助産学専攻科を置く。

2 助産学専攻科に関する規程は、別に定める。

（附属図書館）

第3条 本学に附属図書館を置く。

2 附属図書館に関し必要な事項は、別に定める。

第3条の2 本学に附属研究所を置く。

2 附属研究所に関し必要な事項は、別に定める。

(事務局)

第4条 本学に事務局を置く。

2 事務局の組織に関し必要な事項は、別に定める。

第3節 職員

(職員)

第5条 本学に学長、副学長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員及びその他必要な職員を置く。

2 職制に関し必要な事項は、別に定める。

(学長)

第5条の2 学長は、校務をつかさどり、職員を統督する。

(副学長)

第5条の3 副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどる。

2 副学長に関し必要な事項は、別に定める。

(職員の連携及び協働)

第5条の4 本学は、教育研究活動等の組織的かつ効果的な運営を図るため、教育職員と事務職員との適切な役割分担の下で連携体制を確保し、協働して職務を行うものとする。

第4節 教育研究審議会及び教授会

(教育研究審議会)

第6条 本学の教育研究に関する重要事項を審議するため、教育研究審議会を置く。

2 教育研究審議会の運営に関する規定は、別に定める。

(教授会)

第6条の2 本学の学部教授会を置く。

2 教授会の組織及び運営に関する事項は、別に定める。

第5節 学年、学期及び休業日

(学年)

第7条 本学の学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第8条 学年を次の2学期に分け、学期ごとに授業科目を開設し、第15条に定めるところにより単位の認定を行う。

前学期 4月1日から9月30日まで

後学期 10月1日から翌年の3月31日まで

2 学長は、前項の学期の期間を必要に応じて変更することができる。

(休業日)

第9条 休業日は次のとおりとする。

- (1) 日曜日及び土曜日
 - (2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律178号）に規定する休日
 - (3) 沖縄県慰霊の日 6月23日
 - (4) 創立記念日 12月21日
 - (5) 夏季休業 8月1日から9月30日まで
 - (6) 冬季休業 12月21日から翌年1月4日まで
 - (7) 春季休業 3月1日から3月31日まで
- 2 学長は、前項の休業日を必要に応じて変更することができる。
 - 3 臨時休業日は、その都度学長が定める。
 - 4 休業日の期間中でも必要な実習その他を課することができる。

第2章 修業年限及び在学期間

（修業年限）

第10条 本学の修業年限は、4年とする。

- 2 前項の規定にかかわらず、学生が職業を有している等の事情により、修業年限を越えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し卒業することを希望する旨を申し出たときは、支障のない場合に限り、その計画的な履修（以下「長期履修」という。）を認めることができる。
- 3 長期履修の取扱いに関する細則は、別に定める。

（在学期間）

第11条 学生は、修業年限の2倍を超えて在学することができない。

- 2 前項の規定に関わらず、第23条の規定により入学した者は、4年を超えて在学することができない。
- 3 第1項の規定に関わらず、第24条第1項及び第25条第1項の規定により入学した者は、入学後の在学すべき年数の2倍を超えて在学することができない。

第3章 教育課程

（教育課程の編成方針）

第12条 本学は、学部及び学科の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を開設し、学部及び学科ごとに体系的な教育課程を編成するものとする。

（人材養成の目的）

第12条の2 学部の人材養成の目的を次のとおり定める。

（1）国際学部

平和・自由・進歩の建学の精神に基づいた幅広い教養と地域社会及び国際社会への深い理解をそなえた有為な人材を養成する。

ア 国際文化学科

沖縄県が持つ地理的・歴史的・文化的特性を活用し、多文化理解力、高い日本語能力、英語をはじめとする外国語の実践的運用能力を身につけ、地域社会および国際社会で活躍できる人材を養成する。

イ 国際観光産業学科

観光産業および地域振興における社会的ニーズに対応し、多様化する問題・課題のマネジメント能力をそなえ、地域社会および国際社会に貢献できる実践力のある人材を養成する。

(2) 人間健康学部

平和・自由・進歩の建学の精神に基づいた幅広い教養と調和のとれた知・徳・体をそなえた人材及び心身の健康を支援する有為な人材を養成する。

ア スポーツ健康学科

人間の「こころ」と「からだ」を科学的に研究し、人格の尊重、生命の尊厳を指導できる資質をそなえた健康支援の人材を養成する。

イ 看護学科

人間としての尊厳・健康に生きる権利を擁護し、自己評価能力・自己教育力を身につけ、広く社会に貢献できる看護職者を養成する。

ウ 健康情報学科

数理・データサイエンス・AI の手法を駆使し、保健・医療・福祉などを含む健康分野と社会全般に関するデータを分析することで、新たな価値やサービスの創出に貢献できる人材を養成する。

(教育研究上の目的)

第12条の3 学部の教育研究上の目的を次のとおり定める。

(1) 国際学部

ア 国際文化学科

自国及び環太平洋地域を中心とする国・地域の言語・文化・政治等に関する知見を基礎に学際的研究及び理論、実践、比較研究を通じ、地域社会及び国際社会における課題の解決に取り組む。

イ 国際観光産業学科

観光産業および地域振興における社会的ニーズの変化とともに多様化する問題・課題に対応して、学際的研究及び理論、実践、比較研究を通じ、観光現象を探究・究明する。

(2) 人間健康学部

ア スポーツ健康学科

人間理解、健康理解を基礎として、食生活・栄養、運動・スポーツ、心理、社会福祉、保健・医療の幅広い視点に立った多面的角度から「スポーツと健康」を探究・究明する。

イ 看護学科

地域に根ざしたケアリング文化を発掘・継承・発展させ、人類の健康増進に務め且つ看護学のグローバルな発展に寄与することを目的に教育研究活動を推進する。

ウ 健康情報学科

数理・データサイエンス・AI の手法を駆使し、保健・医療・福祉などを含む健康分野と社会全般に関するデータを分析することで、多面的な視点から「健康と情報」を探究・究明する。

(授業科目の名称及び単位数等)

第13条 本学における授業科目の名称並びに単位数は別表1-1から別表4のとおりとする。

2 授業科目は、必修科目、選択科目及び自由科目とする。

3 外国人留学生対象の外国語教育科目の種類及び単位数は、別表5のとおりとする。

4 卒業に必要な単位数は、別表6-1及び別表6-2のとおりとする。

(授業の方法)

第13条の2 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれか又はこれらの併用により行うものとする。

2 本学は、文部科学大臣が別に定めるところにより、前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができるものとする。

3 本学は、第一項の授業を、外国において履修させることができるものとする。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても同様とする。

4 本学は、文部科学大臣が別に定めるところにより、第一項の授業の一部を校舎及び附属施設以外の場所で行うことができるものとする。

(単位の計算方法)

第14条 授業科目の単位の計算方法は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業及び授業時間外に必要な学修を考慮し、次の基準により単位数を計算するものとする。

(1) 講義及び演習については、15時間から30時間の授業をもって1単位とする。

(2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間の授業をもって1単位とする。

(3) 講義又は演習及び実験、実習又は実技の二つ以上の方法で構成される授業科目については、上記(1)及び(2)を勘案し、16時間から45時間をもって1単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文等の授業科目については、必要な学修の成果を考慮して、単位数を定めることができる。

(単位の授与)

第15条 授業科目を履修した者には、試験及び出席状況その他によって認定の上、単位を与える。

(成績評価)

第16条 授業科目の成績は、秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)及び不可(59点以下)の5種類の評語をもって表し、秀、優、良及び可を合格とし不可を不合格とする。ただし、実習の場合は、合格又は不合格の評語をもって表すことができる。

(授業日数)

第17条 学年の授業日数は、定期試験の日数も含め、35週にわたることを原則とする。

(各授業科目の授業時間)

第17条の2 各授業科目の授業は、8週又は15週にわたる期間を単位として行うものとする。ただし、教育上必要があり、かつ、十分な教育効果をあげることができると思われる場合は、この限りではない。

(授業を行う学生数)

第17条の3 本学が一の授業科目について同時に授業を行う学生数は、授業の方法及び施設、設備その他の教育上の諸条件を考慮して、教育効果を十分にあげられるような適当な人数とする。

第4章 入学、編入学、転入学及び再入学

(入学)

第18条 入学の時期は、学年の始めとする。ただし、再入学及び外国人学生の入学については、学期の始めとすることができる。

(入学資格)

第19条 本学の入学資格は、次のとおりとする。

- (1) 高等学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有する者として認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規程による大学入学資格検定(以下「旧検定」という。)に合格した者を含む。)
- (7) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
- (8) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、当該者をその後に入学させる大学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- (9) 大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

(入学志願手続)

第20条 入学を志願する者は、所定の期日までに入学願書に入学検定料及び別に定める書類を添えて願出しなければならない。

(入学者の選抜)

第21条 入学志願者に対しては、選抜試験を行う。

(入学手続及び入学許可)

第22条 選抜試験の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに、誓約書、個人情報取扱い同意書その他必要な書類を提出しなければならない。

2 学長は、前項の入学手続を完了した者に入学を許可する。

(編入学)

第23条 編入学の入学資格は、次のとおりとする。

- (1) 大学を卒業した者又は大学に2年以上在学し60単位以上を修得した者
 - (2) 短期大学、高等専門学校、国立工業教員養成所又は国立養護教諭養成所を卒業した者
 - (3) 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第92条の3に定める従前の規定による高等学校、専門学校又は教員養成諸学校等の課程を修了し又は卒業した者
- 2 編入学を志願する者は、所定の期日までに編入学願書に編入学検定料及び別に定める書類を添えて願出なければならない。
- 3 編入学志願者に対しては、選抜試験を行う。
- 4 選抜試験の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに、誓約書、保証書その他必要書類を提出しなければならない。
- 5 学長は、前項の編入学手続を完了した者に編入学を許可する。

(転入学)

第24条 他の大学に在学中の者で、本学に転入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り、学長は、相当年次に入学を許可することができる。

2 転入学を希望する者は、現に在学する大学の学長の許可書を願書に添付しなければならない。

3 前2項に定めるもののほか、転入学に関し必要な事項は別に定める。

(再入学)

第25条 次の各号の一に該当する者で、同一学科に再入学を志願する者があるときは、学長は、相当年次に入学を許可することができる。

(1) 第28条による退学者

(2) 第29条第5号、第6号及び第7号の規定により除籍された者

2 前項に定めるもののほか、再入学に関し必要な事項は別に定める。

第5章 休学、復学、退学、除籍、転学部、転学科及び転学

(休学)

第26条 病気その他の理由により修学を中止しようとする者は、医師の診断書又は理由書を添えて願い出、学長の許可を得て休学することができる。

2 学長は、病気その他の理由により修学が不相当と認められる者に対して、必要な期間休学を命ずることができる。

3 休学期間は、当該学期又は学年の終わりまでとする。ただし、特別の理由があるときは、休学期間を延長することができる。

4 休学期間は通算して4年を超えることはできない。

5 前項の規定に関わらず、第23条の規定により入学した学生の休学期間は、通算して2年を超えることはできない。

6 第4項の規定に関わらず、第24条第1項及び第25条第1項の規定により入学した学生の休学期間は、入学後の在学すべき年数を超えることができない。

7 休学期間は、第10条に規定する修業年限及び第11条に規定する在学期間に算入しない。

(復学)

第27条 休学期間を満了した者、又は休学期間満了前にその理由が消滅した者は、所定の期日までに願い出、学長の許可を得て復学することができる。

2 病気による休学者が復学しようとするときは、医師の診断書を添付するものとする。

(退学)

第28条 退学しようとする者は、学長の許可を得なければならない。

(除籍)

第29条 次の各号の一に該当する者は、学長が、これを除籍する。

(1) 長期間にわたり行方不明の者

(2) 在学期間を超えた者

(3) 第26条第4項、第5項及び第6項に定める休学期間を超えてなお修学できない者

(4) 病気その他の理由により、成業の見込みがないと認められる者

(5) 休学期間満了後督促してもなお所定の手続きをしない者

(6) 授業料の納付を怠り、督促してもなお納付しない者

(7) 卒業に要する最終学年を除く一学年の修得単位(第35条により認定された単位は除く。)が16単位未満の者

(転学部)

第30条 本学の学生で、他の学部への転出(以下「転学部」という。)を志望する者があるときは、学長は、相当年次に転学部を許可することができる。

2 前項に規定するもののほか、転学部については、別に定める。

(転学科)

第30条の2 本学の学生で、転学科を志願する者があるときは、学長は、相当年次に転学科を許可することができる。

2 前項に規定するもののほか、転学科については、別に定める。

(転学)

第31条 本学の学生で他の大学へ入学又は転入学しようとする者は、学長の許可を得なければならない。

第6章 卒業及び学位

(卒業)

第32条 次の要件を満たした者には、学長が卒業を認定する。

(1) 第10条に規定する修業年限在籍した者

(2) 第13条第4項に規定する単位を修得した者

(3) 卒業判定に合格した者

2 卒業判定に係る卒業見込判定等については、別に定める。

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修)

第33条 学長は、教育上有益と認めるときは、学生が本学の定めるところにより他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、60単位を超えない範囲で、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項の規定は、学生が外国の大学又は短期大学に留学する場合に準用する。

(大学以外の教育施設等における学修)

第34条 学長は、教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

2 前項に与えることができる単位数は、前条第1項及び第2項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(入学前の既修得単位の認定)

第35条 学長は、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学又は短期大学等において履修した授業科目について修得した単位(第39条及び第40条の規定により履修した単位を含む。)を、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 学長は、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った前条第1項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

3 前2項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学、転学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第33条第1項及び第2項並びに前条第1項により本学において修得したものとみなす単位

数と合わせて60単位を超えないものとする。

(遠隔授業により修得することができる単位数)

第35条の2 第13条の2第2項の授業の方法により修得できる単位数は、第13条第4項に規定する卒業の要件として修得すべき単位数のうち、60単位を超えないものとする。

(教員の免許状授与の所要資格の修得)

第35条の3 教員の免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、教育職員免許法(昭和24年法律第147号)及び教育職員免許法施行規則(昭和29年文部省令第26号)の定めるところに従い、別表7の授業科目を履修し、単位を修得しなければならない。

2 本学において当該所要資格を取得できる教員の免許状の種類は、別表8に掲げるとおりとする。

(学位)

第36条 本学を卒業したものには、学士の学位を授与する。

2 学位に関し必要な事項は、別に定める。

第7章 学費

(学費及びその他の納入金)

第37条 本学の学費は、諸納入金の種類及び額等については、公立大学法人名桜大学学費及び諸納入金に関する規程の定めるところによる。

第8章 科目等履修生、特別聴講学生及び聴講生

第38条 削除

(科目等履修生)

第39条 本学において、授業科目の履修を希望する者があるときは、教育に支障のない場合に限り、学長は、当該学部の教授会の議を経て科目等履修生として入学を許可することができる。

2 科目等履修生に関し必要な事項は、別に定める。

第40条 削除

(特別聴講学生)

第41条 他の大学等との協議に基づき、当該大学等の学生に授業科目の履修を認めることができる。

2 前項の規定により授業科目の履修が認められた学生は、特別聴講学生と称する。

(聴講生)

第41条の2 学外者が本学の授業科目の聴講を希望する場合、学長は、聴講生として受け入れることができる。

2 聴講生に関し必要な事項は、別に定める。

第9章 公開講座

(公開講座)

第42条 大学の教育を広く社会に開放し、生涯学習に対する要望に応えるとともに、文化の向上に資するため、本学に公開講座を開設することができる。

第10章 賞罰

(表彰)

第43条 学生として表彰に価する行為があった者は、学長は、これを表彰する。

(懲戒)

第44条 学生が、本学の規則に違反し、または学生としての本分に反する行為があったときは、学長は、これを懲戒する。

2 前項の懲戒の種類は、訓告、停学又は退学とする。

3 前項の退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。

- (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- (2) 学業を怠り、成業の見込みがないと認められる者
- (3) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

第11章 寄宿舍

(寄宿舍)

第45条 本学に寄宿舍を置く。

2 寄宿舍に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この学則は、平成6年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成8年4月1日から施行する。

附 則（平成10年3月27日）

- 1 この学則は、平成10年4月1日から施行する。
- 2 平成10年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。

附 則（平成11年3月26日）

- 1 この学則は、平成11年4月1日から施行する。
- 2 平成11年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。

附 則（平成12年3月29日）

- 1 この学則は、平成12年4月1日から施行する。

- 2 改正後の第2条第2項の規定にかかわらず、国際学部の国際文化学科、経営情報学科及び観光産業学科の平成12年度から平成14年度までの収容定員は次のとおりとする。

学 部	学 科	平成12年度	平成13年度	平成14年度
国際学部	国際文化学科	470人	470人	465人
	経営情報学科	470人	470人	465人
	観光産業学科	470人	470人	465人
計		1410人	1410人	1395人

- 3 平成12年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。
- 4 改正後の第37条の3及び別表5の規定は、平成12年4月1日を休学及び入学の始期とする者から適用する。

附 則（平成13年3月28日）

- 1 この学則は、平成13年4月1日から施行する。
- 2 平成13年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。

附 則（平成14年3月29日）

- 1 この学則は、平成14年4月1日から施行する。
- 2 平成14年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。

附 則（平成14年7月31日）

この学則は、平成14年7月31日から施行し、改正後の第37条の2及び第37条の4の規定は、平成14年4月1日から適用する。

附 則（平成15年3月28日）

- 1 この学則は、平成15年4月1日から施行する。
- 2 平成15年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。

附 則（平成16年3月28日）

- 1 この学則は、平成16年4月1日から施行する。
- 2 平成16年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。

附 則（平成17年3月29日）

- 1 この学則は、平成17年4月1日から施行する。
- 2 平成17年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。

附 則（平成18年3月29日）

- 1 この学則は、平成18年4月1日から施行する。
- 2 平成18年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、

従前の規定を適用する。

附 則（平成19年3月27日）

- 1 この学則は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 平成19年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。

附 則（平成20年3月27日）

- 1 この学則は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 平成20年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。

附 則（平成20年11月28日）

- 1 この学則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 平成21年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。

附 則（平成22年3月4日）

- 1 この学則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 平成22年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。

附 則（平成23年1月26日）

- 1 この学則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 平成23年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。

附 則（平成23年9月28日）

- 1 この学則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。

附 則（平成24年10月24日）

- 1 この学則は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 平成25年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。

附 則（平成25年10月24日）

- 1 この学則は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 平成26年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。

附 則（平成26年9月27日）

- 1 この学則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 平成27年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。

附 則（平成27年3月28日）

- 1 この学則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 国際学部国際文化学科、経営情報学科、観光産業学科は、平成27年3月31日をもって廃止する。

附 則（平成27年9月30日）

- 1 この学則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 平成28年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。

附 則（平成28年9月27日）

- 1 この学則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 平成29年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。

附 則（平成28年12月21日）

- 1 この学則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 平成29年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。

附 則（平成29年9月29日）

- 1 この学則は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 平成30年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。

附 則（平成30年3月29日）

- 1 この学則は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 平成30年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。

附 則（平成31年2月15日）

- 1 この学則は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 平成31年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。

附 則（令和2年2月17日）

- 1 この学則は、令和2年4月1日から施行する。
- 2 令和2年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。

附 則（令和2年3月27日）

- 1 この学則は、令和2年4月1日から施行する。
- 2 令和2年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。

附 則（令和 3 年 3 月 2 4 日）

- 1 この学則は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 令和 3 年 3 月 3 1 日に在学する者には、改正後の第 1 3 条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。

附 則（令和 3 年 6 月 2 9 日）

- 1 この学則は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 令和 4 年 3 月 3 1 日に在学する者には、改正後の第 1 3 条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。

附 則（令和 3 年 1 2 月 2 4 日）

- 1 この学則は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 令和 4 年 3 月 3 1 日に在学する者には、改正後の第 1 3 条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。

附 則（令和 年 月 日）

- 1 この学則は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 令和 5 年 3 月 3 1 日に在学する者には、改正後の第 1 3 条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。
- 3 国際学群国際学類は、改正後の第 2 条第 2 項の規定にかかわらず、当該学群学類に在学するものが当該学群学類に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

別表１－１ 国際学部 国際文化学科 教養教育科目（第１３条第１項関係）

共通コア科目

アカデミックスキル科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
教 養 演 習 I	2		
教 養 演 習 II	2		
コンピュータ・リテラシー		2	
数理・データサイエンス・AI 入門		2	
アカデミックライティング I	2		
アカデミックライティング II		2	
アカデミックスキル特別講義		2	

ライフデザイン科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
大 学 と 人 生	2		
ライフデザイン特別講義		2	
キャリアデザイン		2	
プロジェクト学習		2	

思想と論理科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
人 間 と 環 境		2	
生 命 と 倫 理		2	
科 学 入 門		2	
論 理 学		2	
現 代 思 想		2	
思 想 と 論 理 特 別 講 義		2	

沖縄理解科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
沖 縄 学		2	
沖 縄 の 自 然		2	
沖 縄 の 言 語		2	
沖 縄 理 解 特 別 講 義		2	

健康スポーツ科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
体 育 実 技 I		1	
体 育 実 技 II		1	
健 康 ・ ス ポ ー ツ 科 学		2	
健 康 ス ポ ー ツ 特 別 講 義		2	
健 康 ス ポ ー ツ 特 別 実 技		1	

共通選択科目

外国語科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
ベーシック・イングリッシュ	2		
インク [®] リッシュ・コミュニケーション	2		
ド イ ツ 語 I		2	
ド イ ツ 語 II		2	
フ ラ ン ス 語 I		2	
フ ラ ン ス 語 II		2	
ス ペ イ ン 語 I		2	
ス ペ イ ン 語 II		2	
ポ ル ト ガ ル 語 I		2	
ポ ル ト ガ ル 語 II		2	
中 国 語 I		2	
中 国 語 II		2	
韓 国 語 I		2	
韓 国 語 II		2	
タ イ 語 I		2	
タ イ 語 II		2	
外 国 語 特 別 講 義 I		2	
外 国 語 特 別 講 義 II		2	
ア カ デ ミ ッ ク 英 語 基 礎	2		
フ [®] ラクティカル・インク [®] リッシュ I		2	
フ [®] ラクティカル・インク [®] リッシュ II		2	
ビ ジ ネ ス 英 語 I		2	
ビ ジ ネ ス 英 語 II		2	

国際理解科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
国 際 学 入 門		2	
異 文 化 接 触 論		2	
国 際 社 会 と 日 本		2	
人 権 と 平 和		2	
国 際 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 論		2	
海 外 ス タ デ ィ ャー		2	
国 際 理 解 特 別 講 義		2	

人文科学科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
音 楽 の 歴 史 と 鑑 賞		2	
美 術 の 歴 史 と 鑑 賞		2	
哲 学		2	
心 理 学		2	
歴 史 学		2	
教 育 学		2	

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
ヒューマンケアリング		2	
文 学		2	
人 文 科 学 特 別 講 義		2	

社会科学科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
法 学		2	
憲 法 学		2	
政 治 学		2	
経 済 学		2	
経 営 学		2	
社 会 学		2	
人 文 地 理 学		2	
社 会 科 学 特 別 講 義		2	

自然科学科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
数 学		2	
統 計 学		2	
物 理 学		2	
化 学		2	
生 物 学		2	
地 学		2	
情 報 科 学 と 社 会 学		2	
自 然 科 学 特 別 講 義		2	

別表１－２ 国際学部 国際観光産業学科 教養教育科目（第１３条第１項関係）

共通コア科目

アカデミックスキル科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
教 養 演 習 I	2		
教 養 演 習 II	2		
コンピュータ・リテラシー		2	
数理・データサイエンス・AI 入門		2	
アカデミックライティング I	2		
アカデミックライティング II		2	
アカデミックスキル特別講義		2	

ライフデザイン科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
大 学 と 人 生	2		
ライフデザイン特別講義		2	
キャリアデザイン		2	
プロジェクト学習		2	

思想と論理科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
人 間 と 環 境		2	
生 命 と 倫 理		2	
科 学 入 門		2	
論 理 学		2	
現 代 思 想		2	
思 想 と 論 理 特 別 講 義		2	

沖縄理解科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
沖 縄 学		2	
沖 縄 の 自 然		2	
沖 縄 の 言 語		2	
沖 縄 理 解 特 別 講 義		2	

健康スポーツ科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
体 育 実 技 I		1	
体 育 実 技 II		1	
健 康 ・ ス ポ ー ツ 科 学		2	
健 康 ス ポ ー ツ 特 別 講 義		2	
健 康 ス ポ ー ツ 特 別 実 技		1	

共通選択科目

外国語科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
ベーシック・イングリッシュ	2		
インク・リッシュ・コミュニケーション	2		
ド イ ツ 語 I		2	
ド イ ツ 語 II		2	
フ ラ ン ス 語 I		2	
フ ラ ン ス 語 II		2	
ス ペ イ ン 語 I		2	
ス ペ イ ン 語 II		2	
ポ ル ト ガ ル 語 I		2	
ポ ル ト ガ ル 語 II		2	
中 国 語 I		2	
中 国 語 II		2	
韓 国 語 I		2	
韓 国 語 II		2	
タ イ 語 I		2	
タ イ 語 II		2	
外 国 語 特 別 講 義 I		2	
外 国 語 特 別 講 義 II		2	
ア カ デ ミ ッ ク 英 語 基 礎	2		
フ ° ラ ク テ ィ カ ル ・ イ ン ク ・ リ ッ シ ュ I		2	
フ ° ラ ク テ ィ カ ル ・ イ ン ク ・ リ ッ シ ュ II		2	
ビ ジ ネ ス 英 語 I		2	
ビ ジ ネ ス 英 語 II		2	

国際理解科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
国 際 学 入 門		2	
異 文 化 接 触 論		2	
国 際 社 会 と 日 本		2	
人 権 と 平 和		2	
国 際 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 論		2	
海 外 ス タ デ ィ ャー		2	
国 際 理 解 特 別 講 義		2	

人文科学科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
音 楽 の 歴 史 と 鑑 賞		2	
美 術 の 歴 史 と 鑑 賞		2	
哲 学		2	
心 理 学		2	
歴 史 学		2	
教 育 学		2	

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
ヒューマンケアリング		2	
文 学		2	
人 文 科 学 特 別 講 義		2	

社会科学科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
法 学		2	
憲 法 学		2	
政 治 学		2	
経 済 学		2	
経 営 学		2	
社 会 学		2	
人 文 地 理 学		2	
社 会 科 学 特 別 講 義		2	

自然科学科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
数 学		2	
統 計 学		2	
物 理 学		2	
化 学		2	
生 物 学		2	
地 学		2	
情 報 科 学 と 社 会		2	
自 然 科 学 特 別 講 義		2	

別表2-1 国際学部 国際文化学科 専門教育科目（第13条第1項関係）

専門基礎科目

人文科学系科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
日 本 語 理 解 論		2	
日 本 史 概 論		2	
日 本 文 化 概 論		2	
文 化 人 類 学		2	
人 間 関 係 論		2	
日 本 語 表 現 論		2	
世 界 史 概 論		2	
比 較 芸 術 論		2	
比 較 宗 教 論		2	
初 級 英 作 文		2	
中 級 英 語 オーラルコミュニケーション		2	
中 級 英 作 文		2	
英 文 文 法		2	
漢 文 学 概 論 I		2	
言 語 と 文 学		2	
比 較 思 想 論		2	

社会科学系科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
経 営 統 計 学		2	
観 光 学 概 論		2	
地 域 研 究 方 法 論		2	
社 会 調 査 法 論		2	
経 営 情 報 論		2	
地 域 社 会 論		2	
社 会 心 理 学		2	
経 済 学 総 論		2	
倫 理 学		2	

自然科学系科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
コ ン ピ ュ ー タ 概 論		2	
情 報 処 理 論		2	
情 報 化 社 会 論		2	
自 然 保 護 論		2	
沖 縄 の 天 然 記 念 物		2	
島 嶼 環 境 論		2	
情 報 と 職 業		2	

専門発展・応用科目／演習科目

地域文化系科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
沖 縄 の 社 会		2	
沖 縄 の 社 会 と 教 育		2	
沖 縄 地 域 文 化 論		2	
沖 縄 の 地 域 史		2	
日 本 の 歴 史 I		2	
日 本 の 歴 史 II		2	
日 本 史 史 料 講 読 会		2	
日 本 の 社 会		2	
日 本 の 宗 教		2	
地 誌 学 概 論		2	
自 然 地 理 学 概 論		2	

国際文化系科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
ア ジ ア の 歴 史		2	
ア ジ ア の 文 化		2	
ア ジ ア の 文 学		2	
ア ジ ア の 言 語		2	
ア ジ ア の 宗 教		2	
ア ジ ア の 政 治 と 社 会		2	
中 南 米 の 歴 史		2	
中 南 米 の 文 化		2	
中 南 米 の 社 会		2	
中 南 米 の 文 学		2	
中 南 米 の 言 語		2	
移 民 と 異 文 化		2	
比 較 映 像 文 化 論		2	
世 界 の 歴 史		2	

国際学系科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
国 際 関 係 論		2	
国 際 政 治 論		2	
国 際 機 構 論		2	
国 際 法 論		2	
ア メ リ カ 政 治 外 交 論		2	
日 米 関 係 論		2	

英語・英語文学系科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
英 語 音 声 学		2	
英 語 学 概 論 I		2	
言 語 学 概 論 I I		2	
理 論 言 語 学 講 読		2	
応 用 言 語 学 講 読		2	
英 語 学 概 論		2	
小 学 校 英 語 教 育 教 授 論		2	
準 高 等 英 語 リ ス ニ ン グ		2	
高 等 英 語 リ ス ニ ン グ		2	
準 高 等 オ ー ラ ル ・		2	
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン			
高 等 英 語 オ ー ラ ル ・		2	
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン			
準 高 等 英 語 講 読		2	
高 等 英 語 講 読		2	
準 高 等 英 作 文		2	
高 等 英 作 文		2	
英 米 文 化 概 論 I		2	
英 米 文 化 概 論 I I		2	
英 語 リ サ ー チ ・ ラ イ テ ィ ン グ		2	
イ ギ リ ス 文 学		2	
ア メ リ カ 文 学		2	
英 語 文 学 講 読		2	
外 書 講 読		2	
デ イ ベ ー ト		2	
通 訳 技 法		2	
異 文 化 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 論		2	

日本語・日本文学系科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
日 本 語 学 概 論		2	
日 本 言 語 史		2	
琉 球 語 学 概 論		2	
現 代 日 本 語 論		2	
日 本 語 教 授 法		2	
日 本 古 典 文 学 概 論		2	
日 本 古 典 文 学 史		2	
日 本 古 典 文 学 論		2	
日 本 近 代 文 学 概 論		2	
日 本 近 代 文 学 史		2	
日 本 近 代 文 学 論		2	
南 島 歌 謡 学		2	
沖 縄 の 文 学		2	
漢 文 学 概 論 II		2	
書 写 ・ 書 道 概 論		2	

実践科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
地 域 文 化 演 習		2	
現 地 実 習		4	
教 育 支 援 演 習		2	
教 育 支 援 実 習		4	
日 本 語 教 育 実 践 演 習		2	

特別講義

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
国 際 学 部 特 別 講 義		2	
国 際 文 化 特 別 講 義 I		2	
国 際 文 化 特 別 講 義 II		2	
国 際 文 化 特 別 講 義 III		2	
国 際 文 化 特 別 講 義 IV		2	

演習科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
国 際 文 化 基 礎 演 習	2		
国 際 文 化 専 門 演 習 I	2		
国 際 文 化 専 門 演 習 II	2		
国 際 文 化 専 門 演 習 III	2		
国 際 文 化 専 門 演 習 IV	2		
国 際 文 化 専 門 演 習 V	2		

別表 2-2 国際学部 国際観光産業学科 専門教育科目（第13条第1項関係）

専門基礎科目

人文科学系科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
日 本 語 理 解 論		2	
日 本 史 概 論		2	
日 本 文 化 概 論		2	
文 化 人 類 学		2	
人 間 関 係 論		2	
日 本 語 表 現 論		2	
世 界 史 概 論		2	

社会科学系科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
経 営 統 計 学		2	
観 光 学 概 論	2		
観 光 学 総 論	2		
地 域 研 究 方 法 論		2	
社 会 調 査 法		2	
経 営 情 報 論		2	
地 域 社 会 論		2	
倫 理 学		2	
経 営 学 総 論	2		
簿 記 原 理 学		4	
ミ ク ロ 経 済 学		2	
民 法 と 市 民 生 活		2	
マ ク ロ 経 済 学		2	
経 済 学 総 論		2	
社 会 心 理 学		2	

自然科学系科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
コ ン ピ ュ ー タ 概 論		2	
情 報 処 理 論		2	
情 報 化 社 会 論		2	
自 然 保 護 論		2	
沖 縄 の 天 然 記 念 物		2	
島 嶼 環 境 論		2	
情 報 と 職 業		2	

専門発展・応用科目／演習科目

観光地形成科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
観 光 事 業 論		2	
観 光 開 発 論 I		2	
観 光 開 発 論 II		2	
観 光 政 策 論		2	
西 欧 経 済 史		2	
地 域 経 済 学		2	
観 光 経 済 学		2	
地 誌 学		2	
観 光 地 理 学		2	
観 光 資 源 論		2	
自 然 地 理 学 概 論		2	
観 光 行 動 論		2	
観 光 心 理 学		2	
イ ベ ン ト 事 業 論		2	
国 際 コ ン ベ ン シ ョ ン ビ ジ ネ ス		2	
観 光 関 連 法 規		2	
観 光 調 査 法		4	
ホ ス ピ タ リ テ ィ マ ー ケ テ ィ ン グ 論		4	
観 光 交 通 論		2	
沖 縄 観 光		2	
レジャー・レクリエーション論	2		
行 政 法		2	
財 政 学		2	
国 際 経 済 論		2	
地 方 自 治 論		2	
市 場 調 査 論		2	
経 済 政 策		2	
地 域 マ ー ケ テ ィ ン グ 論		2	
日 本 の 歴 史 I		2	
日 本 の 歴 史 II		2	
世 界 の 歴 史		2	

観光経営科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
観 光 産 業 論	2		
交 通 産 業 論		2	
ホ ス ピ タ リ テ ィ 概 論		2	
ホ テ ル 経 営 論		2	
ホ テ ル 計 画 論		4	
旅 行 業 経 営 論		4	
旅 行 業 法 と 約 款		2	
ホ ス ピ タ リ テ ィ マ ネ ジ メ ン ト 論		2	
上 級 簿 記		4	
会 社 法		2	
流 通 法 論		2	
マ ー ケ テ ィ ン グ 論	2		

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
中 小 企 業 論		2	
原 価 計 算		2	
経 営 組 織 論		2	※
経 営 戦 略 論		2	※
会 計 学 原 理		2	
ベンチャービジネス		2	
経 営 管 理 論		2	
問 題 解 決 の 心 理 学		2	
人 的 資 源 管 理 論		2	
グ ローバル・ビジネス論		2	
産 業 情 報 論		2	
経 営 分 析 論		2	
組 織 心 理 学		2	
対人コミュニケーション論		2	
チームマネジメントの心理学		2	
職 業 指 導 I		2	
職 業 指 導 II		2	

観光文化・環境科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
健 康 と 長 寿 学		2	
余 暇 社 会 学		2	
地 球 の 環 境 と そ の 保 全		2	
エ コ ツ ー リ ズ ム I		2	
エ コ ツ ー リ ズ ム II		2	
自 然 観 察 指 導 法		4	
環 境 ア セ ス メ ン ト 論 I		2	
環 境 ア セ ス メ ン ト 論 II		2	
環 境 調 査 法		4	
観 光 文 化 論		2	
沖 縄 の 自 然 と 植 物 学		2	
島 嶼 文 化 論		2	
比 較 宗 教 論		2	
日 本 史 史 料 講 読		2	
日 本 の 宗 教		2	

国際観光科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
国 際 観 光 論	2		
観 光 実 用 中 国 語		2	
観 光 実 用 韓 国 語		2	
観 光 実 用 英 語 I		2	
観 光 実 用 英 語 II		2	
ア ジ ア の 歴 史		2	
中 南 米 の 歴 史		2	
外 書 講 読		2	

実践科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
インターンシップⅠ		1	
インターンシップⅡ		2	
海外インターンシップ		4	
ホテル実務		6	
観光関連実務		6	

観光関連科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
スクーバダイビング		1	
ウェルネス概論		2	
スポーツ産業論		2	
ゴルフⅠ		1	
ゴルフⅡ		1	
空手		1	
救急処置		2	

特別講義

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
国際学部特別講義		2	
国際観光産業特別講義Ⅰ		2	
国際観光産業特別講義Ⅱ		2	
国際観光産業特別講義Ⅲ		2	
国際観光産業特別講義Ⅳ		2	

演習科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
国際観光産業基礎演習	2		
国際観光産業専門演習Ⅰ	2		
国際観光産業専門演習Ⅱ	2		
国際観光産業専門演習Ⅲ	2		
国際観光産業専門演習Ⅳ	2		
国際観光産業専門演習Ⅴ	2		

別表３－１ 人間健康学部 スポーツ健康学科 教養教育科目（第１３条第１項関係）

共通コア科目

アカデミックスキル科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
教 養 演 習 I	2		
教 養 演 習 II	2		
コンピュータ・リテラシー	2		
数理・データサイエンス・AI 入門		2	
アカデミックライティング I	2		
アカデミックライティング II		2	
アカデミックスキル特別講義		2	

ライフデザイン科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
大 学 と 人 生	2		
ライフデザイン特別講義		2	
キャリアデザイン		2	
プロジェクト学習		2	

思想と論理科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
人 間 と 環 境		2	
生 命 と 倫 理		2	
科 学 入 門		2	
論 理 学		2	
現 代 思 想		2	
思想と論理特別講義		2	

沖縄理解科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
沖 縄 学		2	
沖 縄 の 自 然		2	
沖 縄 の 言 語		2	
沖縄理解特別講義		2	

健康スポーツ科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
体 育 実 技 I		1	
体 育 実 技 II		1	
健 康 ・ ス ポ ー ツ 科 学		2	
健康スポーツ特別講義		2	
健康スポーツ特別実技		1	

共通選択科目

外国語科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
ベーシック・イングリッシュ	2		
インク [®] リッシュ・コミュニケーション	2		
ド イ ツ 語 I		2	
ド イ ツ 語 II		2	
フ ラ ン ス 語 I		2	
フ ラ ン ス 語 II		2	
ス ペ イ ン 語 I		2	
ス ペ イ ン 語 II		2	
ポ ル ト ガ ル 語 I		2	
ポ ル ト ガ ル 語 II		2	
中 国 語 I		2	
中 国 語 II		2	
韓 国 語 I		2	
韓 国 語 II		2	
タ イ 語 I		2	
タ イ 語 II		2	
外 国 語 特 別 講 義 I		2	
外 国 語 特 別 講 義 II		2	
ア カ デ ミ ッ ク 英 語 基 礎	2		
フ [®] ラクティカル・インク [®] リッシュ I		2	
フ [®] ラクティカル・インク [®] リッシュ II		2	
ビ ジ ネ ス 英 語 I		2	
ビ ジ ネ ス 英 語 II		2	

国際理解科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
国 際 学 入 門		2	
異 文 化 接 触 論		2	
国 際 社 会 と 日 本		2	
人 権 と 平 和		2	
国 際 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 論		2	
海 外 ス タ デ ィ ャー		2	
国 際 理 解 特 別 講 義		2	

人文科学科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
音 楽 の 歴 史 と 鑑 賞		2	
美 術 の 歴 史 と 鑑 賞		2	
哲 学		2	
心 理 学		2	
歴 史 学		2	
教 育 学		2	

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
ヒューマンケアリング		2	
文 学		2	
人 文 科 学 特 別 講 義		2	

社会科学科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
法 学		2	
憲 法 学		2	
政 治 学		2	
経 済 学		2	
経 営 学		2	
社 会 学		2	
人 文 地 理 学		2	
社 会 科 学 特 別 講 義		2	

自然科学科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
数 学		2	
統 計 学		2	
物 理 学		2	
化 学		2	
生 物 学		2	
地 学		2	
情 報 科 学 と 社 会 学		2	
自 然 科 学 特 別 講 義		2	

別表３－２ 人間健康学部 看護学科 教養教育科目（第１３条第１項関係）

共通コア科目

アカデミックスキル科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
教 養 演 習 I	2		
教 養 演 習 II	2		
コ ン ピ ュ ー タ ・ リ テ ラ シ ー	2		
数 理 ・ デ ー タ サ イ エ ン ス ・ A I 入 門		2	
ア カ デ ミ ッ ク ラ イ テ ィ ン グ I	2		
ア カ デ ミ ッ ク ラ イ テ ィ ン グ II		2	
ア カ デ ミ ッ ク ス キ ル 特 別 講 義		2	

ライフデザイン科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
大 学 と 人 生	2		
ラ イ フ デ ザ イ ン 特 別 講 義		2	
キ ャ リ ア デ ザ イ ン		2	
プ ロ ジ ェ ク ト 学 習		2	

思想と論理科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
人 間 と 環 境		2	
生 命 と 倫 理		2	
科 学 入 門		2	
論 理 学		2	
現 代 思 想		2	
思 想 と 論 理 特 別 講 義		2	

沖縄理解科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
沖 縄 学		2	
沖 縄 の 自 然		2	
沖 縄 の 言 語		2	
沖 縄 理 解 特 別 講 義		2	

健康スポーツ科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
体 育 実 技 I		1	
体 育 実 技 II		1	
健 康 ・ ス ポ ー ツ 科 学		2	
健 康 ス ポ ー ツ 特 別 講 義		2	
健 康 ス ポ ー ツ 特 別 実 技		1	

共通選択科目

外国語科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
ベーシック・イングリッシュ	2		
インク [®] リッシュ・コミュニケーション		2	
ド イ ツ 語 I		2	
ド イ ツ 語 II		2	
フ ラ ン ス 語 I		2	
フ ラ ン ス 語 II		2	
ス ペ イ ン 語 I		2	
ス ペ イ ン 語 II		2	
ポ ル ト ガ ル 語 I		2	
ポ ル ト ガ ル 語 II		2	
中 国 語 I		2	
中 国 語 II		2	
韓 国 語 I		2	
韓 国 語 II		2	
タ イ 語 I		2	
タ イ 語 II		2	
外 国 語 特 別 講 義 I		2	
外 国 語 特 別 講 義 II		2	
ア カ デ ミ ッ ク 英 語 基 礎		2	
フ [®] ラクティカル・インク [®] リッシュ I		2	
フ [®] ラティカル・インク [®] リッシュ II		2	
ビ ジ ネ ス 英 語 I		2	
ビ ジ ネ ス 英 語 II		2	

国際理解科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
国 際 学 入 門		2	
異 文 化 接 触 論		2	
国 際 社 会 と 日 本		2	
人 権 と 平 和		2	
国 際 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 論		2	
海 外 ス タ デ ィ ャー		2	
国 際 理 解 特 別 講 義		2	

人文科学科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
音 楽 の 歴 史 と 鑑 賞		2	
美 術 の 歴 史 と 鑑 賞		2	
哲 学		2	
心 理 学		2	
歴 史 学		2	
教 育 学		2	
ヒ ュ マ ン ケ ア リ ン グ		2	
文 学		2	

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
人 文 科 学 特 別 講 義		2	

社会科学科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
法 学		2	
憲 法 学		2	
政 治 学		2	
経 済 学		2	
経 済 学		2	
社 会 学		2	
社 会 学		2	
人 文 地 理 学		2	
社 会 科 学 特 別 講 義		2	

自然科学科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
数 学	2	2	
統 計 学			
物 理 学		2	
化 学		2	
生 物 学		2	
地 球 学		2	
情 報 科 学 と 社 会 学		2	
自 然 科 学 特 別 講 義		2	

別表３－３ 人間健康学部 健康情報学科 教養教育科目（第１３条第１項関係）

共通コア科目

アカデミックスキル科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
教 養 演 習 I	2		
教 養 演 習 II	2		
コンピュータ・リテラシー	2		
数理・データサイエンス・AI 入門	2		
アカデミックライティング I	2		
アカデミックライティング II		2	
アカデミックスキル特別講義		2	

ライフデザイン科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
大 学 と 人 生	2		
ライフデザイン特別講義		2	
キャリアデザイン		2	
プロジェクト学習		2	

思想と論理科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
人 間 と 環 境		2	
生 命 と 倫 理		2	
科 学 入 門		2	
論 理 学		2	
現 代 思 想		2	
思 想 と 論 理 特 別 講 義		2	

沖縄理解科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
沖 縄 学		2	
沖 縄 の 自 然		2	
沖 縄 の 言 語		2	
沖 縄 理 解 特 別 講 義		2	

健康スポーツ科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
体 育 実 技 I		1	
体 育 実 技 II		1	
健 康 ・ ス ポ ー ツ 科 学		2	
健 康 ス ポ ー ツ 特 別 講 義		2	
健 康 ス ポ ー ツ 特 別 実 技		1	

共通選択科目

外国語科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
ベーシック・イングリッシュ	2		
インク [®] リッシュ・コミュニケーション	2		
ド イ ツ 語 I		2	
ド イ ツ 語 II		2	
フ ラ ン ス 語 I		2	
フ ラ ン ス 語 II		2	
ス ペ イ ン 語 I		2	
ス ペ イ ン 語 II		2	
ポ ル ト ガ ル 語 I		2	
ポ ル ト ガ ル 語 II		2	
中 国 語 I		2	
中 国 語 II		2	
韓 国 語 I		2	
韓 国 語 II		2	
タ イ 語 I		2	
タ イ 語 II		2	
外 国 語 特 別 講 義 I		2	
外 国 語 特 別 講 義 II		2	
アカデミック英語基礎	2		
フ [®] ラクティカル・インク [®] リッシュ I		2	
フ [®] ラティカル・インク [®] リッシュ II		2	
ビ ジ ネ ス 英 語 I		2	
ビ ジ ネ ス 英 語 II		2	

国際理解科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
国 際 学 入 門		2	
異 文 化 接 触 論		2	
国 際 社 会 と 日 本		2	
人 権 と 平 和		2	
国際コミュニケーション論		2	
海外スタディーズ I		2	
国 際 理 解 特 別 講 義		2	

人文科学科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
音 楽 の 歴 史 と 鑑 賞		2	
美 術 の 歴 史 と 鑑 賞		2	
哲 学		2	
心 理 学		2	
歴 史 学		2	
教 育 学		2	
ヒューマンケアリング学		2	
文 学		2	

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
人 文 科 学 特 別 講 義		2	

社会科学科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
法 学		2	
憲 法 学		2	
政 治 学		2	
経 済 学		2	
経 済 学		2	
社 会 学		2	
社 会 学		2	
人 文 地 理 学		2	
社 会 科 学 特 別 講 義		2	

自然科学科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
数 学		2	
統 計 学		2	
物 理 学		2	
化 学		2	
生 物 学		2	
地 学		2	
情 報 科 学 と 社 会	2		
自 然 科 学 特 別 講 義		2	

別表4 人間健康学部 専門教育科目（第13条第1項関係）

専門基礎教育科目【スポーツ健康学科】

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
ス ポ ー ツ 健 康 学 総 論	2		
ス ポ ー ツ 健 康 演 習	2		
人 体 機 能 学		2	
発 育 発 達 学	2		
救 急 処 置	2		
社 会 福 祉 概 論		2	
生 涯 ス ポ ー ツ 論	2		
ウ ェ ル ネ ス 概 論	2		
医 学 一 般 学		2	
解 剖 学		2	
生 理 学 ・ 運 動 生 理 学		2	
衛 生 学 ・ 公 衆 衛 生 学		2	
栄 養 学		2	

専門教育科目【スポーツ健康学科】

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
体 育 原 理		2	
ス ポ ー ツ 健 康 学 特 別 講 義 I		2	
ス ポ ー ツ 健 康 学 特 別 講 義 II		2	
ス ポ ー ツ 健 康 学 特 別 実 技 I		1	
ス ポ ー ツ 健 康 学 特 別 実 技 II		1	
運 動 学		2	
体 育 心 理 学		2	
体 育 社 会 学		2	
体 育 経 営 管 理 学		2	
コ ー チ 学		2	
ト レ ー ニ ン グ 論		2	
体 力 ・ 健 康 測 定 と 評 価		2	
ス ポ ー ツ 指 導 論		2	
ス ポ ー ツ 栄 養 学		2	
ス ポ ー ツ マ ネ ジ メ ン ト		2	
ス ポ ー ツ 障 害 と 予 防		2	
運 動 処 方 論		2	
安 全 管 理 論 及 び 方 法		2	
野 外 教 育 論		2	
レジャー・レクリエーション論		2	
空 手 ・ 古 武 道 概 論		2	
体 育 ・ ス ポ ー ツ 史		2	
ス ポ ー ツ バ イ オ メ カ ニ ク ス		2	
球 技 論		2	
健 康 教 育		2	
学 校 保 健		2	
精 神 保 健		2	
養 護 概 説		2	
看 護 学 I		2	

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
看護学 II		2	
学校救急看護学		2	
健康相談活動の理論及び方法		2	
医学一般 II		2	
病理学		2	
免疫学		2	
微生物学		2	
薬理概論		2	
健康心理学		2	
心の健康		2	
保健衛生学		2	
労働衛生学概論		2	
労働法 Ⅰ		2	
労働法 Ⅱ		2	
介護概論		2	
社会福祉援助技術		2	
児童福祉		2	
障害者・高齢者福祉		2	
グローバルヘルス		2	
生理学・運動生理学演習		2	
衛生学・公衆衛生学演習		2	
動作学演習		2	
スポーツ心理学演習		2	
トレーニング論演習		2	
海洋スポーツ演習		2	
看護臨床実習 Ⅰ		1	
看護臨床実習 Ⅱ		3	
運動負荷試験		1	
健康産業施設等現場実習		2	
コーチング演習		2	
体つくり運動		1	
器械運動		1	
陸上競技		1	
水泳		1	
バスケットボール		1	
ハンドボール		1	
サッカー		1	
バレーボール		1	
卓球		1	
ソフトボール		1	
柔道		1	
剣道		1	
空手		1	
舞踊		1	
琉球舞踊		1	
エアロビクス Ⅰ		1	
エアロビクス Ⅱ		1	
レクリエーション実技		1	

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
ゴ ル フ I		1	
ゴ ル フ II		1	
ウ イ ン ド サ ー フ ィ ン		1	
ス ク ー バ ダ イ ビ ン グ I		1	
ス ク ー バ ダ イ ビ ン グ II		1	
ス キ ー ・ ス ノ ー ボ ー ド		1	
テ ー ピ ン グ マ ッ サ ー ジ		1	
イ ン タ ー ン シ ッ プ I		2	
イ ン タ ー ン シ ッ プ II		2	
地 域 ウ ェ ル ネ ス プ ロ ジ ェ ク ト		2	
卒 業 研 究 演 習 I	2		
卒 業 研 究 演 習 II	2		
卒 業 研 究 演 習 III	2		
卒 業 研 究 演 習 IV	2		

専門基礎教育科目【看護学科】

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
解 剖 生 理 学 I	2		
解 剖 生 理 学 II	2		
病 態 生 理 学 (含 : 病 理 学)	2		
栄 養 ・ 生 化 学	2		
精 神 保 健	2		
病 態 治 療 学 I (内 科 系 疾 患)	2		
病 態 治 療 学 II (外 科 系 疾 患)	2		
症 候 学 I	1		
症 候 学 II		1	
臨 床 薬 理 学	2		
微 生 物 学	1		
人 間 関 係 論	1		
生 涯 発 達 論	1		
家族社会学 (含 : ジェンダー論)		2	
医 療 英 語	2		
公 衆 衛 生 学	1		
保 健 統 計 学		2	
疫 学		2	
保 健 福 祉 行 政 論 I	2		
保 健 福 祉 行 政 論 II		1	
産 業 保 健 学	1		
保 健 行 動 論		1	

専門教育科目【看護学科】

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
看護学概論	2		
セルフケア論	1		
セルフケア援助技術	2		
療養生活援助技術	2		
看護実践論Ⅰ	1		
看護実践論Ⅱ	1		
フィジカルアセスメント	2		
地域・在宅看護学概論	1		
沖縄の文化と看護	1		
地域包括ケア論	1		
地域・在宅看護方法論	2		
島嶼・過疎地看護論	1		
成人看護学概論	1		
がん看護論	1		
成人看護方法論Ⅰ	2		
成人看護方法論Ⅱ	2		
高齢者看護学概論	1		
老年看護学	1		
高齢者看護方法論	2		
小児看護学概論	1		
こどもの健康科学	1		
小児看護方法論	2		
母性看護学概論	1		
女性性の健康科学	1		
母性看護方法論	2		
精神看護学概論	1		
こころの健康科学	1		
精神看護方法論	2		
看護倫理	1		
キャリアデザインⅠ	1		
キャリアデザインⅡ	1		
キャリアデザインⅢ	1		
キャリアデザインⅣ	1		
緩和ケア論	1		
感染看護論	1		
看護研究方法論	1		
卒業研究	2		
看護実践と理論		1	
看護マネジメント論	1		
家族看護学	1		
グローバルナッシングⅠ	1		
グローバルナッシングⅡ		2	
グローバルナッシングⅢ		2	
災害看護学Ⅰ	1		
災害看護学Ⅱ		1	
公衆衛生看護学概論Ⅰ	1		
公衆衛生看護学概論Ⅱ		1	
ケアリング文化実習Ⅰ	1		
ケアリング文化実習Ⅱ	1		
ケアリング文化実習Ⅲ	1		

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
ケ ア リ ン グ 文 化 実 習 IV	1		
ケ ア リ ン グ 文 化 実 習 V	1		
基 礎 看 護 実 習	2		
地 域 ・ 在 宅 看 護 実 習	2		
成 人 看 護 実 習 I	2		
成 人 看 護 実 習 II	2		
高 齢 者 看 護 実 習	2		
小 児 看 護 実 習	2		
母 性 看 護 実 習	2		
精 神 看 護 実 習	2		
総 合 実 習	2		
公 衆 衛 生 看 護 活 動 論		1	
公 衆 衛 生 看 護 方 法 論 I		2	
公 衆 衛 生 看 護 方 法 論 II		2	
公 衆 衛 生 看 護 管 理 論		1	
公 衆 衛 生 看 護 実 習 I		1	
公 衆 衛 生 看 護 実 習 II		3	

専門基礎科目【健康情報学科】

数学・情報・データサイエンス

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
健康情報数学 I (入門または演習)	2		
健康情報統計 I (入門または演習)	2		
デ ー タ サ イ エ ン ス 概 論	2		
コ ン ピ ュ ー タ 概 論	2		
プ ロ グ ラ ミ ン グ 基 礎	2		
コンピュータ・グラフィックス		2	
デ ー タ ベ ー ス 基 礎		2	
国 際 ネ ッ ト ワ ー ク 論		2	

保健・医療・福祉

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
ウ エ ル ネ ス 概 論	2		
医 療 概 論 及 び 人 体 構 造 ・ 機 能	2		
公 衆 衛 生 学	2		
医 療 管 理 総 論		2	
疫 学		2	
栄 養 学		2	
食 育 と 健 康 学		2	
保 健 医 療 情 報 学		2	
社 会 福 祉 概 論		2	
体 力 ・ 健 康 測 定 と 評 価		2	

専門発展科目【健康情報学科】

情報科学

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
情 報 処 理 論		2	
シ ス テ ム 設 計 論		2	
プ ロ グ ラ ミ ン グ 応 用		2	
プ ロ グ ラ ミ ン グ 応 用 演 習		4	
ア ル ゴ リ ズ ム 論		2	
デ ー タ ベ ー ス 演 習		2	
デ ー タ 処 理 入 門		2	
情 報 化 社 会 論		2	
イ ン タ ー ネ ッ ト と 法		2	
ネ ッ ト ワ ー ク 技 術 I		2	
ネ ッ ト ワ ー ク 技 術 II		2	
ネ ッ ト ワ ー ク の 構 築 と 運 用		2	
シ ス テ ム 開 発 技 術 (I o T)		2	
ウ ェ ブ デ ザ イ ン		2	
ウ ェ ブ コ ン テ ン ツ 実 践		2	
情 報 と 職 業		2	
経 営 情 報 論		2	
産 業 情 報 論		2	
情 報 セ キ ュ リ テ ィ I		2	

データサイエンス

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
健 康 情 報 統 計 II		2	
健 康 情 報 統 計 III		2	
健 康 情 報 数 学 II		2	
健 康 情 報 数 学 III		2	
社 会 調 査 法		2	
A I ・ デ ー タ サ イ エ ン ス I		2	
A I ・ デ ー タ サ イ エ ン ス II		2	
医 療 ・ 生 命 情 報 学 I		2	
医 療 ・ 生 命 情 報 学 II		2	
パ タ ー ン 認 識		2	
画 像 処 理		2	
自 然 言 語 処 理		2	
人 工 知 能		2	

ヘルスデータ

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
臨 床 医 学 総 論 及 び 医 療 用 語		2	
臨 床 医 学 各 論 I		2	
臨 床 医 学 各 論 II		2	
臨 床 医 学 各 論 III		2	
臨 床 医 学 各 論 IV		2	

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
診療情報管理論Ⅰ		2	
診療情報管理論Ⅱ		2	
医療管理各論		2	
国際統計分類Ⅰ		2	
国際統計分類Ⅱ		2	
健康ビジュアルデータ		2	
デジタルヘルス		2	
コミュニケーション			
デジタルヘルステクノロジー		2	
デジタルヘルスイノベーション		2	
医療統計学		2	

専門応用科目【健康情報学科】

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
社会心理学		2	
観光行動論		2	
マーケティング論		2	
地域マーケティング論		2	
市場調査論		2	
簿記原理解		2	
会計学原理解		2	
経営分析論		2	
経営統計学		2	
経営戦略論		2	

専門総合科目【健康情報学科】

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
健康情報特別講義Ⅰ		2	
健康情報特別講義Ⅱ		2	
病院実務Ⅰ		1	
病院実務Ⅱ		1	
病院実務Ⅲ		4	
健康情報演習（PBLⅠ）		2	
健康情報演習（PBLⅡ）		2	
健康情報専門演習Ⅰ	4		
健康情報専門演習Ⅱ	4		

別表5 外国人留学生対象科目（第13条第3項関係）

国際学部及び人間健康学部共通（外国語教育科目）

外国人留学生対象科目

科 目 名						単 位 数		
						必修	選択	自由
日 本 語 I - 1							2	
日 本 語 I - 2							2	
日 本 語 I - 3							2	
日 本 語 I - 4							2	
日 本 語 II - 1							2	
日 本 語 II - 2							2	
日 本 語 II - 3							2	
日 本 語 II - 4							2	
日 本 語 III - 1							2	
日 本 語 III - 2							2	
日 本 語 III - 3							2	
日 本 語 III - 4							2	
日 本 語 IV - 1							2	
日 本 語 IV - 2							2	
日 本 語 IV - 3							2	
日 本 語 IV - 4							2	
留学生のためのアカデミック ライティング							2	
日 本 語 演 習							2	
日 本 事 情 I							2	
日 本 事 情 II							2	
日 本 事 情 III							2	

別表6-1 卒業に必要な単位数（第13条第4項関係）

【国際学部 国際文化学科】

授 業 科 目 の 区 分	単 位 数
教 養 教 育 科 目	42単位以上
専 門 基 礎 科 目	14単位以上
専 門 発 展 ・ 応 用 科 目	40単位以上
演 習 科 目	12単位以上
自 由 選 択 科 目	16単位以上
合 計	124単位以上

【備考】自由選択科目に教職に関する科目（1免許に係る教育法、
教育実習）を含めることができる。

【国際学部 国際観光産業学科】

授 業 科 目 の 区 分	単 位 数
教 養 教 育 科 目	4 2 単位以上
専 門 基 礎 科 目	1 4 単位以上
専 門 発 展 ・ 応 用 科 目	4 0 単位以上
演 習 科 目	1 2 単位以上
自 由 選 択 科 目	1 6 単位以上
合 計	1 2 4 単位以上

【備考】自由選択科目に教職に関する科目（1 免許に係る教育法、教育実習）を含めることができる。

別表 6－2 卒業に必要な単位数（第 13 条第 4 項関係）

【人間健康学部 スポーツ健康学科】

授 業 科 目 の 区 分	単 位 数
教 養 教 育 科 目	3 2 単位以上
専 門 基 礎 教 育 科 目 (必修科目)	1 2 単位
(選択科目)	1 0 単位以上
専 門 教 育 科 目 (必修科目)	8 単位
(選択科目)	5 2 単位以上
自 由 選 択 科 目	1 0 単位以上
合 計	1 2 4 単位以上

【備考】自由選択科目にライフデザイン科目，専門基礎教育科目，専門教育科目及び教職に関する科目を含めることができる。

【人間健康学部 看護学科】

授 業 科 目 の 区 分	単 位 数
教 養 教 育 科 目	2 8 単位以上
専 門 基 礎 教 育 科 目	2 6 単位以上
専 門 教 育 科 目	7 7 単位以上
合 計	1 3 1 単位以上

【人間健康学部 健康情報学科】

授 業 科 目 の 区 分	単 位 数
教 養 教 育 科 目	3 2 単位以上
専 門 基 礎 科 目	2 0 単位以上
専 門 発 展 科 目	3 0 単位以上
専 門 応 用 科 目	8 単位以上
専 門 総 合 科 目	1 4 単位以上
自 由 選 択 科 目	2 0 単位以上
合 計	1 2 4 単位以上

【備考】自由選択科目に教職に関する科目（1 免許に係る教育法、教育実習）を含めることができる。

別表 7 教職に関する科目（第 35 条の 3 第 1 項関係）

教職に関する科目

科 目 名	単 位 数		
	必修	選択	自由
英 語 科 教 育 法 I			4
英 語 科 教 育 法 II			4
地 理 歴 史 科 教 育 法 I			2
地 理 歴 史 科 教 育 法 II			2
商 業 科 教 育 法 I			2
商 業 科 教 育 法 II			2
保 健 体 育 科 教 育 法 I			2
保 健 体 育 科 教 育 法 II			2
保 健 体 育 科 教 育 法 III			2
保 健 体 育 科 教 育 法 IV			2
情 報 科 教 育 法 I			2
情 報 科 教 育 法 II			2
教 育 原 理			2
教 職 概 論			2
教 育 制 度 論			2
教 育 心 理 学			2
特 別 支 援 教 育			2
教 育 課 程 論			2
道 徳 教 育 の 理 論 と 方 法			2
総 合 的 な 学 習 の 時 間 の 指 導 法			2
特 別 活 動 の 指 導 法			2
教 育 方 法 (ICT の 活 用 を 含 む。)			2
生 徒 指 導 の 理 論 及 び 方 法			2
教 育 相 談			2
進 路 指 導 論			2
中 学 校 教 育 実 習 事 前 指 導			1
高 等 学 校 教 育 実 習 事 前 指 導			1
養 護 実 習 事 前 指 導			1
中 学 校 教 育 実 習			4
高 等 学 校 教 育 実 習			2
養 護 実 習			4
教 職 実 践 演 習 (中・高)			2
教 職 実 践 演 習 (養 護)			2
介 護 等 体 験			1

別表 8 取得できる教員の免許状の種類（第 35 条の 3 第 2 項関係）

学群・学部	学類・学科	免許状の種類	免許教科
国際学部	国際文化学科	中学校教諭一種免許状	英語
		高等学校教諭一種免許状	英語
	国際観光産業学科	高等学校教諭一種免許状	地理歴史 商業
人間健康学部	スポーツ健康学科	中学校教諭一種免許状	保健体育
		高等学校教諭一種免許状	保健体育
		養護教諭一種免許状	養護
	健康情報学科	高等学校教諭一種免許状	情報

名桜大学学位規則

(平成13年4月1日制定)

(趣旨)

第1条 この規則は、学位規則（昭和28年文部省令第9号）第13条、名桜大学学則第36条第2項及び名桜大学大学院学則第42条第2項の規定に基づき、名桜大学（以下「本学」という。）が行う学位授与の手続き及び方法に関する必要な事項を定める。

(学士の学位授与の要件)

第2条 学士の学位授与は、本学を卒業した者に対し行う。

(修士の学位授与の要件)

第3条 修士の学位の授与は、本学大学院修士課程及び博士前期課程（以下「修士課程及び博士前期課程」という。）を修了した者に対し行う。

(博士の学位授与の要件)

第4条 博士の学位の授与は、本学大学院博士後期課程（以下「博士後期課程」という。）を修了した者に対し行う。

(学位論文の提出)

第5条 修士の学位論文は、研究科長（修士課程及び博士前期課程）に提出する。

2 博士の学位論文は、研究科長（博士後期課程）に提出する。

第6条 提出する学位論文は、1編とする。ただし、参考として他の論文を添付することができる。

第7条 研究科委員会は、審査のため必要があるときは、論文の抄訳及びその他の資料の提出を求めることができる。

第8条 受理した論文は、返付しない。

(審査の付託)

第9条 研究科長は、第5条第1項及び第2項の規定より学位論文を受理したときは、研究科委員会に審査を付託しなければならない。

第10条 研究科委員会は、学位論文の審査を付託されたときは、審査会を設置し、審査させるものとする。

2 審査会は、3人以上の審査委員をもって組織する。

3 審査会は、学位論文の審査のほか最終試験、又は学力の確認を行う。

4 研究科委員会は、学位論文の審査に当たって必要があるときは、他の大学院又は研究所等の教員等に審査の協力を求めることができる。

(最終試験)

第11条 最終試験は、学位論文審査終了後、学位論文を中心として口述又は筆記試験によって行う。

(審査の確認)

第12条 学位論文の審査及び最終試験又は学力の確認は、その在学期間中に終了しなければならない。

(研究科委員会への報告)

第13条 審査会は、学位論文の審査及び最終試験又は学力の確認を終了したときは、その審査要旨に意見を付して、最終試験又は学力の確認の成績とともに、文書で研究科委員会に報告しなければならない。

(研究科委員会の議決)

第14条 研究科委員会は、前条の報告に基づいて審議し、学位授与の可否を議決する。

2 前項の議決は、出席委員の3分の2以上の賛成がなければならない。

(学長への報告)

第15条 研究科長は、研究科委員会が前条第1項の議決をしたときは、学位論文の審査要旨、最終試験又は学力の確認の成績を添えて議決の結果とともに、文書で学長に報告しなければならない。

(学位の授与)

第16条 学長は、前条の報告に基づき、学位授与の可否を決定し、授与すべき者には、所定の学位記を交付し、授与できない者には、その旨を本人に通知する。

2 学長は、前項によって学位を授与したときは、研究科長に通知する。

(専攻分野の名称)

第17条 学位を授与するに当たっては、専攻分野の名称を付記する。

2 専攻分野の名称は次の表のとおりとする。

(学士の専攻分野の名称)

学部	学科	名 称
国際学部	国際文化学科	国際文化学
	国際観光産業学科	国際観光産業学
人間健康学部	スポーツ健康学科	スポーツ健康学
	看護学科	看護学
	健康情報学科	健康情報学

(修士及び博士前期課程の専攻分野の名称)

研究科	専攻	名称
国際文化研究科	国際文化システム専攻	国際文化
看護学研究科	看護学専攻	看護学

(博士の専攻分野の名称)

研究科	専攻	名称
国際文化研究科	国際地域文化専攻	国際地域文化
看護学研究科	看護学専攻	看護学

(学位の名称)

第18条 本学において学位を授与された者が、学位の名称を用いるときは、「名桜大学」と付記しなければならない。

(学位授与の取消し)

第19条 学位を授与された者が、その名誉を汚す行為があったとき又は不正の方法により学位の授与を受けた事実が判明したときは、学長は、学士にあっては教授会、修士及び博士にあっては大学院委員会の議を経て、学位の授与を取消し、学位記を返付させ、かつ、その旨を公表する。

2 教授会又は大学院委員会において前項の議決をする場合は、学士にあっては教授会規則第5条第2項の規定、修士及び博士にあっては学位規則第14条第2項の規定を準用する。

(学位記の様式)

第20条 学位記の様式は、学士にあっては別紙様式1-1、様式1-2、修士にあっては別紙様式2-1、博士前期課程にあっては様式2-2、博士にあっては別紙様式3-1、様式3-2のとおりとする。

(補則)

第21条 この規則で定めるもののほか、学位に関し必要な事項は、学士にあっては学長、修士及び博士にあっては研究科長が別に定める。

(雑則)

第22条 この規則の改廃は、教育研究審議会の議を経て、学長が行う。

附 則

- 1 この規則は、平成13年4月1日から施行する。
- 2 この規則施行前に授与された学士の学位は、この規則に基づき授与されたものと見なす。

附 則

- 1 この規則は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 平成19年3月31日に在学する者には、改正後の第16条第2項の規定にかかわらず従前の規定を適用する。

附 則

- 1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 平成23年3月31日に在学する者には、改正後の第16条第2項の規定にかかわらず従前の規定を適用する。

附 則

- 1 この規則は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 平成26年3月31日に在学する者には、改正後の第16条第2項の規定にかかわらず従前の規定を適用する。

附 則

- 1 この規則は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 平成31年3月31日に在学する者には、改正後の第17条第2項の規定にかかわらず従前の規定を適用する。

附 則（令和3年12月16日）

- 1 この規則は、令和4年4月1日から施行する。
- 2 令和4年3月31日に在学する者には、改正後の第17条第2項の規定にかかわらず従前の規定を適用する。

附 則（令和4年3月23日）

- 1 この規則は、令和5年4月1日から施行する。
- 2 令和4年3月31日に在学する者には、改正後の第17条第2項の規定にかかわらず従前の規定を適用する。

様式 1－1 (国際学部を卒業した場合)

第 号	年 月 日	名 桜 大 学 長 氏 名 印	授 与 す る	学 士 （ の 学 位 を 授 与 す る	課 程 を 修 め た の で 卒 業 を 認 定 し	本 学 国 際 学 部 学 科 所 定 の	氏 名 年 月 日 生	学 位 記	之 大 名 印 学 桜

用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とする

様式 1－2 (人間健康学部を卒業した場合)

第 号	年 月 日	名 桜 大 学 長 氏 名 印	授 与 す る	学 士 （ の 学 位 を 授 与 す る	課 程 を 修 め た の で 卒 業 を 認 定 し	本 学 人 間 健 康 学 部 学 科 所 定 の	氏 名 年 月 日 生	学 位 記	之 大 名 印 学 桜

用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とする

様式 2 - 1

(修士課程を修了した場合)

国 研 修 第 号	名 桜 大 学 長 氏 名 印	年 月 日	する で 修 士 (の 学 位 を 授 与 する	審 査 及 び 最 終 試 験 に 合 格 し た の	所 定 の 単 位 を 修 得 し 学 位 論 文 の	本 学 大 学 院 国 際 文 化 研 究 科 専 攻 の 修 士 課 程 に お い て	之 大 名 印 学 桜	氏 名	年 月 日 生	学 位 記

用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とする。

様式 2 - 2

(博士前期課程を修了した場合)

看 研 修 第 号	名 桜 大 学 長 氏 名 印	年 月 日	する で 修 士 (の 学 位 を 授 与 する	審 査 及 び 最 終 試 験 に 合 格 し た の	所 定 の 単 位 を 修 得 し 学 位 論 文 の	本 学 大 学 院 看 護 学 研 究 科 専 攻 の 博 士 前 期 課 程 に お い て	之 大 名 印 学 桜	氏 名	年 月 日 生	学 位 記

用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とする。

様式 3－1 (博士後期課程を修了した場合)

国 研 博 第 号	名 桜 大 学 長 氏 名 印	年 月 日	する で 博 士 （ ） の 学 位 を 授 与 す る	審 査 及 び 最 終 試 験 に 合 格 し た の で 博 士 （ ） の 学 位 を 授 与 す る	所 定 の 単 位 を 修 得 し 学 位 論 文 の 審 査 及 び 最 終 試 験 に 合 格 し た の で 博 士 （ ） の 学 位 を 授 与 す る	本 学 大 学 院 国 際 文 化 研 究 科 専 攻 の 博 士 後 期 課 程 に お い て	之 大 名 印 学 桜	氏 名	年 月 日 生	学 位 記

用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とする。

様式 3－2 (博士後期課程を修了した場合)

看 研 博 第 号	名 桜 大 学 長 氏 名 印	年 月 日	する で 博 士 （ ） の 学 位 を 授 与 す る	審 査 及 び 最 終 試 験 に 合 格 し た の で 博 士 （ ） の 学 位 を 授 与 す る	所 定 の 単 位 を 修 得 し 学 位 論 文 の 審 査 及 び 最 終 試 験 に 合 格 し た の で 博 士 （ ） の 学 位 を 授 与 す る	本 学 大 学 院 看 護 学 研 究 科 専 攻 の 博 士 後 期 課 程 に お い て	之 大 名 印 学 桜	氏 名	年 月 日 生	学 位 記

用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とする。

名桜大学国際学部履修規程（案）

（平成 6 年 4 月 1 日制定）

（趣旨）

第 1 条 この規程は、名桜大学学則（平成 6 年 4 月 1 日制定）第 13 条及び第 32 条の規定に基づき、授業科目の名称、単位数等卒業に必要な単位数その他授業科目の履修に関し必要な事項を定めるものとする。

（履修コース）

第 2 条 学部の学科に次のとおり履修コースを設ける。

学 部	学 科	履修コース
国際学部	国際文化学科	国際文化コース 英語・英語文学コース 日本語・日本文学コース
	国際観光産業学科	観光政策コース 観光経営コース 観光文化・環境コース

（授業科目の名称、単位数等）

第 3 条 開設する授業科目の名称、単位数等は、次のとおりとする。

- (1) 【国際学部】教養教育科目（共通コア科目／共通選択科目） 別表 1
- (2) 【国際学部国際文化学科】専門教育科目（専門基礎科目／専門発展・応用科目／演習科目） 別表 2
- (3) 【国際学部国際観光産業学科】専門教育科目（専門基礎科目／専門発展・応用科目／演習科目） 別表 3
- (4) 【国際学部】外国人留学生対象科目（外国語教育科目） 別表 4
- (5) 【国際学部】3 年次進級の履修要件を示す科目 別表 5
- (6) 【国際学部】副専攻の履修要件を示す科目 別表 6
- (7) 【国際学部国際文化学科】日本語教師養成課程の履修要件を示す科目 別表 7
- (8) 【国際学部国際観光産業学科】観光実務士課程の履修要件を示す科目 別表 8
- (9) 【全学共通科目】各教科の指導法及び教職に関する科目（全学共通科目） 別表 9

2 学則第 35 条 3 の教育免許状授与の所要資格に必要な授業科目の種類、単位数及び必修又は選択の別は、別表 10 のとおりとする。

（卒業に必要な単位数）

第 4 条 卒業に必要な単位数は、別表 11 のとおりとする。

（登録）

第 5 条 学生は、履修しようとする授業科目の登録を行わなければならない。

2 一個学期で登録できる単位数は、20 単位を上限とする。ただし、履修科目登録実施要項に示された授業科目については、20 単位を超えて登録ができるもの

とする。

- 3 授業科目の登録方法及び登録調整期間については、年度又は学期毎に策定する履修科目登録実施要項に定める。

(学期末試験)

第6条 学期末試験は、期間を定めて行う。試験科目、時間等については、試験開始日の1週間前に公示する。

- 2 前項の規定にかかわらず、授業科目の担当教員は、必要に応じて試験を行うことができる。

(追試験)

第7条 追試験は、学期末試験時の受験資格を有しながら、次のやむを得ない理由により受験できなかった者について願出により試験を行うことがある。

- (1) 病気で受験できなかった場合（ただし、医師の診断書が必要）
 - (2) 2親等以内の親族の死亡による忌引きの場合（ただし、往復の日時を含め最短日数とする。）
 - (3) 公共交通機関が運休又は遅延した場合（ただし、遅延の場合は、当局の発行した遅延証明書が必要）
 - (4) 大学が認めた就職試験を受験した場合（ただし、証明書が必要）
 - (5) 大学が認めた遠征試合等に参加した場合
 - (6) その他全学教務委員長が必要と認めた場合
- 2 前項の規定により追試験を受験する場合は、事前又は理由発生当日を含めて直ちに証明書等を添付し、全学教務委員長の認印を得て追試験許可願（様式第1号）を教務課に提出しなければならない。
 - 3 追試の許可は、全学教務委員長が行う。
 - 4 全学教務委員長が許可を行った場合は、担当教員及び学生に通知する。

(再試験)

第8条 再試験は、卒業見込み者で学期末の成績評価において不合格になった科目（2科目以内）について再試験を実施する。ただし、再試験を希望する者は、その授業科目の担当教員の認印を得て再試験許可願（様式第2号）を教務課に提出しなければならない。

- 2 再試験の日程については、3月卒業予定者又は9月卒業予定者にその都度通知する。
- 3 再試験の評価は、80点以上を与えることはできない。
- 4 再試験を受ける者は、受験料（1科目4,000円）を納入しなければならない。

(単位の授与)

第9条 登録した授業科目については、試験その他の成績、学習状況及び出席状況により成績を評価し、合格した科目については、単位を授与する。

(成績評価の基準)

第10条 成績の評価は、秀（100～90点）、優（89～80点）、良（79

～70点)、可(69～60点)及び不可(59点以下)とする。

(進級)

第11条 進級は、科目の履修、単位の修得及び在学期間、国際学部が定める要件を満たした者に対して、学年を一つ上げる制度を指し、1年次から始まり、最終学年を4年次とする。

(進級の要件)

第12条 学生の進級に関する要件を次の各号に掲げる。

(1) 2年次への進級は、入学後通算2セメスタを超過する在学期間をもってこれを認める。

(2) 3年次への進級は、入学後通算4セメスタを超過する在学期間及び60単位以上の単位修得、かつ別表5に掲げる特定の科目の単位修得をもってこれを認める。ただし、進級の時期は年度の始め(4月)とする。

(3) 4年次への進級は、入学後通算6セメスタを超過(3年次編入学生の場合は、編入学後通算2セメスタを超過)する在学期間及び所属する学科の専門演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの単位修得をもってこれを認める。

2 3年次編入学生のうち、3年次への進級要件を満たしていない者は、前項第2号の規定に準じ、編入学後1年以内の学修において、当該学年への進級要件を満たさなくてはならない。満たさない場合は、4年次への進級を認めない。

3 修得単位が60単位未満の海外派遣留学生及び国内派遣留学生の3年次への進級は、第1項第2号の規定とは別に、国際学部教務委員会の議を経て、国際学部長がこれを認めることができる。

(改廃)

第13条 この規程の改廃は、国際学部教授会の議を経て学長が定める。

附 則

この規程は、平成6年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成10年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成10年4月1日から施行する。ただし、平成10年3月31日以前に入学し、引き続き在学する者には、従前の規程を適用する。

附 則(平成11年2月23日)

この規程は、平成11年4月1日から施行する。ただし、平成11年3月31日以前に入学し、引き続き在学する者には、従前の規程を適用する。

附 則(平成12年3月29日)

この規程は、平成１２年４月１日から施行する。ただし、平成１２年３月３１日以前に入学し、引き続き在学する者には、従前の規程を適用する。

附 則（平成１３年３月２８日）

この規程は、平成１３年４月１日から施行する。ただし、平成１３年３月３１日以前に入学し、引き続き在学する者には、従前の規程を適用する。

附 則（平成１４年３月２９日）

この規程は、平成１４年４月１日から施行する。ただし、平成１４年３月３１日以前に入学し、引き続き在学する者には、従前の規程を適用する。

附 則（平成１５年３月３１日）

この規程は、平成１５年４月１日から施行する。ただし、平成１５年３月３１日以前に入学し、引き続き在学する者には、従前の規程を適用する。

附 則（平成１５年１１月１９日）

この規程は、平成１６年４月１日から施行し、改正後の第８条及び第９条の規定は、平成１５年１０月１日から適用する。

附 則（平成１６年３月１７日）

この規程は、平成１６年４月１日から施行する。ただし、平成１６年３月３１日以前に入学し、引き続き在学する者には、従前の規程を適用する。

附 則（平成１７年３月２９日）

この規程は、平成１７年４月１日から施行する。ただし、平成１７年３月３１日以前に入学し、引き続き在学する者には、従前の規程を適用する。

附 則（平成１８年３月２９日）

この規程は、平成１８年４月１日から施行する。ただし、平成１８年３月３１日以前に入学し、引き続き在学する者には、従前の規程を適用する。

附 則（平成１９年３月２７日）

この規程は、平成１９年４月１日から施行する。ただし、平成１９年３月３１日以前に入学し、引き続き在学する者には、従前の規程を適用する。

附 則（平成２０年３月１２日）

この規程は、平成２０年４月１日から施行する。ただし、平成２０年３月３１日以前に入学し、引き続き在学する者には、従前の規程を適用する。

附 則（平成２１年５月１３日）

この規程は、平成２１年４月１日から施行する。ただし、平成２１年３月３１

日以前に入学し、引き続き在学する者には、従前の規程を適用する。

附 則（平成 22 年 3 月 10 日）

この規程は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 22 年 3 月 31 日以前に入学し、引き続き在学する者には、従前の規程を適用する。

附 則（平成 23 年 3 月 16 日）

この規程は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 23 年 3 月 31 日以前に入学し、引き続き在学する者には、従前の規程を適用する。

附 則（平成 25 年 12 月 18 日）

この規程は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 26 年 3 月 31 日以前に入学し、引き続き在学する者には、従前の規程を適用する。

附 則（平成 27 年 3 月 19 日）

この規程は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 27 年 3 月 31 日以前に入学し、引き続き在学する者には、従前の規程を適用する。

附 則（平成 28 年 1 月 20 日）

この規程は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 28 年 3 月 31 日以前に入学し、引き続き在学する者には、従前の規程を適用する。

附 則（平成 29 年 1 月 18 日）

この規程は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 29 年 3 月 31 日以前に入学し、引き続き在学する者には、従前の規程を適用する。

附 則（平成 30 年 1 月 17 日）

この規程は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 30 年 3 月 31 日以前に入学し、引き続き在学する者には、従前の規程を適用する。

附 則（平成 30 年 2 月 28 日）

この規程は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 30 年 3 月 31 日以前に入学し、引き続き在学する者には、従前の規程を適用するが、別表 6-2 については、平成 29 年 4 月 1 日に入学した者にも適用する。

附 則（平成 31 年 2 月 28 日）

この規程は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 31 年 3 月 31 日以前に入学し、引き続き在学する者には、従前の規程を適用する。

附 則（令和 2 年 2 月 19 日）

この規程は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。ただし、令和 2 年 3 月 31 日以前に入学し、引き続き在学する者には、従前の規程を適用するが、第 4 条（登録）

については、全在學生に適用する。

附 則（令和 2 年 3 月 1 9 日）

この規程は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。ただし、令和 2 年 3 月 3 1 日以前に入学し、引き続き在学する者には、従前の規程を適用する。

附 則（令和 3 年 3 月 1 7 日）

この規程は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。ただし、令和 3 年 3 月 3 1 日以前に入学し、引き続き在学する者には、従前の規程を適用する。

附 則（令和 年 月 日）

この規程は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。ただし、令和 5 年 3 月 3 1 日以前に入学し、引き続き在学する者には、従前の規程を適用する。

様式第1号（第7条関係）

年 月 日

追試験許可願

名桜大学長 殿

申請者 学 生 番 号 : _____
 学 科 名 : _____
 氏 名 : _____
 全学教務委員長 : _____

____年度____学期末試験に係る下記科目の追試験を許可して下さいよう、お願い致します。

記

1. 理由

注意

- 1) 病気が追試験許可願の理由の場合、医師の診断書を添付すること。
- 2) その他やむを得ない事情があった場合、その旨の証明書を添付すること。

2. 追試験科目

No.	科目名	クラス	単位数	曜日	時限	教員名
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

※試験の実施時期は、掲示又は本人に電話連絡する。

様式第2号（第8条関係）

年 月 日

再試験許可願

名桜大学長 殿

申請者 学 生 番 号 : _____
 学 科 名 : _____
 氏 名 : _____
 全学教務委員長 : _____

科 目 名		科 目 コ ー ド	
ク ラ ス		単 位 数	
担 当 教 員	印		
試 験 区 分	1. 通年 2. 前学期 3. 後学期 4. 集中講義		
必修・選択	1. 必修 2. 選 択 3. 自 由		
試 験 期 日	令和 年 月 日 (曜日)		
場 所			

※ 再試験科目の受験料（1科目4,000円）は、科目毎に申請すること。

提出年月日 年 月 日

会 計 課 納 入 印
金額 4,000円

【別表1】【国際学部】教養教育科目（共通コア科目／共通選択科目）（第3条関係）

共通コア科目

凡例 (●必修、◎選択必修、○選択)

区分	科目 番号	科 目 名	受 講 年 次	単位数			履修コース						履修前提 科目等
				必 修	選 択	自 由	国 際 文 化	英 語 ・ 英 語 文 学	日 本 語 ・ 日 本 文 学	観 光 政 策	観 光 経 営	観 光 文 化 ・ 環 境	
アカ デミ ック スキ ル科 目	共ア 101	教 養 演 習 I	1	2			●	●	●	●	●	●	
	共ア 102	教 養 演 習 II	1	2			●	●	●	●	●	●	
	共ア 103	コンピュータ・リテラシー	1		2		○	○	○	○	○	○	
	共ア 104	数理・データサイエンス・AI 入門	1		2		○	○	○	○	○	○	
	共ア 105	アカデミックライティング I	1	2			●	●	●	●	●	●	
	共ア 106	アカデミックライティング II	1		2		○	○	○	○	○	○	
	共ア 107	アカデミックスキル特別講義	1		2		○	○	○	○	○	○	
	備 考	・必修科目を含め、コンピュータ・リテラシーまたは数理・データサイエンス・AI 入門のいずれかを履修し、8単位以上修得すること。											
ライ フデ ザイン 科目	共ラ 101	大 学 と 人 生	1	2			●	●	●	●	●	●	
	共ラ 102	ライフデザイン特別講義	1		2		○	○	○	○	○	○	
	共ラ 201	キャリアデザイン	2		2		○	○	○	○	○	○	
	共ラ 202	プロジェクト学習	2		2		○	○	○	○	○	○	
		備 考	・必修科目を含む、2単位以上修得すること。										
思想 と論 理科 目	共思 101	人 間 と 環 境	1		2		○	○	○	○	○	○	
	共思 102	生 命 と 倫 理	1		2		○	○	○	○	○	○	
	共思 103	科 学 入 門	1		2		○	○	○	○	○	○	
	共思 104	論 理 学	1		2		○	○	○	○	○	○	
	共思 105	現 代 思 想	1		2		○	○	○	○	○	○	
	共思 106	思想と論理特別講義	1		2		○	○	○	○	○	○	
		備 考	・2単位以上修得すること。										
沖 縄理 解科 目	共沖 101	沖 縄 学	1		2		○	○	○	○	○	○	
	共沖 102	沖 縄 の 自 然	1		2		○	○	○	○	○	○	
	共沖 103	沖 縄 の 言 語	1		2		○	○	○	○	○	○	
	共沖 104	沖縄理解特別講義	1		2		○	○	○	○	○	○	
		備 考	・2単位以上修得すること。										
健康 スポ ーツ 科目	共健 101	体 育 実 技 I	1		1		○	○	○	○	○	○	
	共健 102	体 育 実 技 II	1		1		○	○	○	○	○	○	
	共健 103	健康・スポーツ科学	1		2		○	○	○	○	○	○	
	共健 104	健康スポーツ特別講義	1		2		○	○	○	○	○	○	
	共健 105	健康スポーツ特別実技	1		1		○	○	○	○	○	○	
		備 考	・2単位以上修得すること。										

共通選択科目

区分	科目番号	科目名	受講年次	単位数			履修コース						履修前提科目等
				必修	選択	自由	国際文化	英語・英語文学	日本語・日本文学	観光政策	観光経営	観光文化・環境	
外国語科目	共外 101	ベーシック・イングリッシュ	1	2			●	●	●	●	●	●	
	共外 102	イングリッシュ・コミュニケーション	1	2			●	●	●	●	●	●	
	共外 103	ドイツ語Ⅰ	1		2		○	○	○	○	○	○	
	共外 104	ドイツ語Ⅱ	1		2		○	○	○	○	○	○	ドイツ語Ⅰ
	共外 105	フランス語Ⅰ	1		2		○	○	○	○	○	○	
	共外 106	フランス語Ⅱ	1		2		○	○	○	○	○	○	フランス語Ⅰ
	共外 107	スペイン語Ⅰ	1		2		○	○	○	○	○	○	
	共外 108	スペイン語Ⅱ	1		2		○	○	○	○	○	○	スペイン語Ⅰ
	共外 109	ポルトガル語Ⅰ	1		2		○	○	○	○	○	○	
	共外 110	ポルトガル語Ⅱ	1		2		○	○	○	○	○	○	ポルトガル語Ⅰ
	共外 111	中国語Ⅰ	1		2		○	○	○	○	○	○	
	共外 112	中国語Ⅱ	1		2		○	○	○	○	○	○	中国語Ⅰ
	共外 113	韓国語Ⅰ	1		2		○	○	○	○	○	○	
	共外 114	韓国語Ⅱ	1		2		○	○	○	○	○	○	韓国語Ⅰ
	共外 115	タイ語Ⅰ	1		2		○	○	○	○	○	○	
	共外 116	タイ語Ⅱ	1		2		○	○	○	○	○	○	タイ語Ⅰ
	共外 117	外国語特別講義Ⅰ	1		2		○	○	○	○	○	○	
	共外 118	外国語特別講義Ⅱ	1		2		○	○	○	○	○	○	
	共外 201	アカデミック英語基礎	2	2			●	●	●	●	●	●	
	共外 202	ブラクティカル・イングリッシュⅠ	2		2		○	○	○	○	○	○	
	共外 203	ブラクティカル・イングリッシュⅡ	2		2		○	○	○	○	○	○	
	共外 204	ビジネス英語Ⅰ	2		2		○	○	○	○	○	○	
	共外 205	ビジネス英語Ⅱ	2		2		○	○	○	○	○	○	
	備考	・必修科目を含む10単位以上修得すること。 ・国際文化学科の学生は、英語以外の外国語（同言語の外国語科目4単位）を履修しなければならない。 ・英語圏外からの留学生は、ベーシック・イングリッシュ、イングリッシュ・コミュニケーションに代わり外国人留学生対象科目から4単位修得することも可能である。 ・留学生は、英語（ベーシック・イングリッシュ、イングリッシュ・コミュニケーション）及び日本語以外の外国語科目のうち4単位は、母語を除いた同一言語（例：ドイツ語Ⅰ、ドイツ語Ⅱ）で履修する必要がある。											
国際理解科目	共国 101	国際学入門	1		2		○	○	○	○	○	○	
	共国 102	異文化接触論	1		2		○	○	○	○	○	○	
	共国 103	国際社会と日本	1		2		○	○	○	○	○	○	
	共国 104	人権と平和	1		2		○	○	○	○	○	○	
	共国 105	国際コミュニケーション論	1		2		○	○	○	○	○	○	
	共国 106	海外スタディツアー	1		2		○	○	○	○	○	○	
	共国 107	国際理解特別講義	1		2		○	○	○	○	○	○	
	備考	・4単位以上修得すること。											
人文科学科目	共人 101	音楽の歴史と鑑賞	1		2		○	○	○	○	○	○	
	共人 102	美術の歴史と鑑賞	1		2		○	○	○	○	○	○	
	共人 103	哲学	1		2		○	○	○	○	○	○	
	共人 104	心理学	1		2		○	○	○	○	○	○	
	共人 105	歴史学	1		2		○	○	○	○	○	○	
	共人 106	教育学	1		2		○	○	○	○	○	○	
	共人 107	ヒューマンケアリング	1		2		○	○	○	○	○	○	

専門発展・応用科目（国際文化学科）

区分	科目番号	科目名	受講年次	単位数			履修コース			履修前提科目等
				必修	選択	自由	国際文化	英語・英語文学	日本語・日本文学	
地域文化系科目	文発 201	沖縄の社会	2		2		○	○	◎	
	文発 202	沖縄の社会と教育	2		2		◎	○	○	
	文発 203	沖縄地域文化論	2		2		◎	○	◎	
	文発 204	沖縄の地域史	2		2		○	○	○	
	文発 205	日本の歴史Ⅰ	2		2		◎	○	◎	
	文発 206	日本の歴史Ⅱ	2		2		◎	○	◎	
	文発 307	日本史史料講読	3		2		○	○	○	
	文発 208	日本の社会	2		2		◎	○	◎	
	文発 209	日本の宗教	2		2		○	○	○	
	文発 210	地誌学	2		2		◎	○	○	
	文発 211	自然地理学概論	2		2		○	○	○	
	備考	・国際文化コース：選択必修科目4単位を含む12単位以上修得すること。 ・英語・英語文学コース：2単位以上修得すること。 ・日本語・日本文学コース：選択必修科目4単位を含む6単位以上修得すること。								
国際文化系科目	文発 212	アジアの歴史	2		2		○	○	○	
	文発 213	アジアの文化	2		2		○	○	○	
	文発 314	アジアの文学	3		2		○	○	○	
	文発 315	アジアの言語	3		2		○	○	○	
	文発 216	アジアの宗教	2		2		◎	○	○	
	文発 317	アジアの政治と社会	3		2		○	○	○	
	文発 218	中南米の歴史	2		2		◎	○	○	
	文発 219	中南米の文化	2		2		◎	○	○	
	文発 320	中南米の社会	3		2		◎	○	○	
	文発 321	中南米の文学	3		2		○	○	○	
	文発 322	中南米の言語	3		2		○	○	○	
	文発 323	移民と異文化	3		2		◎	○	○	
	文発 224	比較映像文化論	2		2		○	○	○	
	文発 225	世界の歴史	2		2		◎	○	○	
	備考	・国際文化コース：選択必修科目4単位を含む14単位以上修得すること。 ・英語・英語文学コース：2単位以上修得すること。 ・日本語・日本文学コース：2単位以上修得すること。								
国際学系科目	文発 226	国際関係論	2		2		◎	○	○	
	文発 227	国際政治論	2		2		◎	○	○	
	文発 328	国際機構論	3		2		○	○	○	
	文発 329	国際法	3		2		○	○	○	
	文発 230	アメリカ政治外交論	2		2		◎	○	○	
	文発 231	日米関係論	2		2		◎	○	○	
	備考	・国際文化コース：選択必修科目4単位を含む6単位以上修得すること。 ・英語・英語文学コース：2単位以上修得すること。 ・日本語・日本文学コース：2単位以上修得すること。								
英語・英語文学系科目	文発 232	英語音声学	2		2		○	○	○	
	文発 233	言語学概論Ⅰ	2		2		○	○	○	
	文発 234	言語学概論Ⅱ	2		2		○	○	○	
	文発 335	理論言語学講読	3		2		○	◎	○	
	文発 336	応用言語学講読	3		2		○	◎	○	
	文発 337	英語学概論	3		2		○	○	○	

区分	科目番号	科目名	受講年次	単位数			履修コース			履修前提科目等
				必修	選択	自由	国際文化	英語・英語文学	日本語・日本文学	
英語・英語文学系科目	文発 338	小学校英語教育教授論	3		2		○	○	○	
	文発 239	準高等英語リスニング	2		2		○	◎	○	
	文発 240	高等英語リスニング	2		2		○	○	○	準高等英語リスニング
	文発 241	準高等オーラル・コミュニケーション	2		2		○	◎	○	
	文発 242	高等英語オーラル・コミュニケーション	2		2		○	○	○	準高等オーラル・コミュニケーション
	文発 243	準高等英語講読	2		2		○	◎	○	
	文発 244	高等英語講読	2		2		○	○	○	準高等英語講読
	文発 245	準高等英作文	2		2		○	◎	○	
	文発 246	高等英作文	2		2		○	○	○	準高等英作文
	文発 247	英米文化概論Ⅰ	2		2		○	○	○	
	文発 248	英米文化概論Ⅱ	2		2		○	○	○	
	文発 349	英語リサーチ・ライティング	3		2		○	○	○	
	文発 250	イギリス文学	2		2		○	○	○	
	文発 351	アメリカ文学	3		2		○	○	○	
	文発 352	英語文学講読	3		2		○	◎	○	
	文発 353	外書講読	3		2		○	○	○	
	文発 354	ディベート	3		2		○	○	○	
	文発 355	通訳技法	3		2		○	○	○	
	文発 356	異文化コミュニケーション論	3		2		○	○	○	
	備考	・国際文化コース：2単位以上修得すること。 ・英語・英語文学コース：理論言語学講読、応用言語学講読、英語文学講読のいずれか2単位を選択し、準高等英語系科目8単位の選択必修科目10単位を含む32単位以上修得すること。 ・日本語・日本文学コース：2単位以上修得すること。								
日本語・日本文学系科目	文発 257	日本語学概論	2		2		○	○	◎	
	文発 258	日本語語史	2		2		○	○	◎	
	文発 259	琉球語学概論	2		2		○	○	◎	
	文発 360	現代日本語論	3		2		○	○	◎	
	文発 361	日本語教授法	3		2		○	○	◎	
	文発 262	日本古典文学概論	2		2		○	○	◎	
	文発 263	日本古典文学史	2		2		○	○	◎	
	文発 364	日本古典文学論	3		2		○	○	◎	
	文発 265	日本近代文学概論	2		2		○	○	◎	
	文発 266	日本近代文学史	2		2		○	○	◎	
	文発 367	日本近代文学論	3		2		○	○	◎	
	文発 268	南島歌謡	2		2		○	○	◎	
	文発 269	沖縄の文学	2		2		○	○	◎	
	文発 270	漢文学概論Ⅱ	2		2		○	○	◎	
	文発 371	書写・書道概論	3		2		○	○	◎	
	備考	・国際文化コース：2単位以上修得すること。 ・英語・英語文学コース：2単位以上修得すること。 ・日本語・日本文学コース：選択必修科目の中から24単位以上修得すること。								
実践科目	文発 272	地域文化演習	2		2		○	○	○	
	文発 273	現地実習	2		4		○	○	○	地域文化演習
	文発 374	教育支援演習	3		2		○	○	○	
	文発 375	教育支援実習	3		4		○	○	○	教育支援演習

区分	科目 番号	科 目 名	受講 年次	単位数			履修コース			履修前提科目等
				必修	選択	自由	国際文化	英語・英語文学	日本語・日本文学	
演習科目	文演 201	国際文化基礎演習	2	2			●	●	●	
	文演 202	国際文化専門演習Ⅰ	2	2			●	●	●	
	文演 303	国際文化専門演習Ⅱ	3	2			●	●	●	国際文化専門演習Ⅰ
	文演 304	国際文化専門演習Ⅲ	3	2			●	●	●	国際文化専門演習Ⅱ
	文演 405	国際文化専門演習Ⅳ	4	2			●	●	●	国際文化専門演習Ⅲ
	文演 406	国際文化専門演習Ⅴ	4	2			●	●	●	国際文化専門演習Ⅳ
	備 考	・必修科目 1 2 単位を修得すること。								

専門発展・応用科目（国際観光産業学科）

凡例（●必修、◎選択必修、○選択）

区分	科目 番号	科 目 名	受講 年次	単位数			履修コース			履修前提科 目等
				必修	選択	自由	観光 政策	観光 経営	観光文化・ 環境	
観光地形成科目	観発 201	観 光 事 業 論	2		2		◎	◎	◎	
	観発 202	観 光 開 発 論 I	2		2		◎	○	○	
	観発 303	観 光 開 発 論 II	3		2		○	○	○	観光開発論 I
	観発 304	観 光 政 策 論	3		2		◎	○	○	
	観発 205	西 欧 経 済 史	2		2		◎	○	○	
	観発 306	地 域 経 済 学	3		2		○	◎	○	
	観発 307	観 光 経 済 学	3		2		◎	◎	○	
	観発 208	地 誌 学	2		2		◎	○	◎	
	観発 209	観 光 地 理 学	2		2		◎	○	◎	
	観発 310	観 光 資 源 論	3		2		○	◎	◎	
	観発 211	自 然 地 理 学 概 論	2		2		◎	○	◎	
	観発 212	観 光 行 動 論	2		2		◎	○	○	
	観発 313	観 光 心 理 学	3		2		○	○	○	
	観発 214	イ ベ ン ト 事 業 論	2		2		○	◎	○	
	観発 315	国際コンベンションビジネス	3		2		○	○	○	
	観発 216	観 光 関 連 法 規	2		2		○	○	○	
	観発 217	観 光 調 査 法	2		4		◎	○	○	
	観発 318	ホスピタリティマーケティング論	3		4		◎	◎	○	
	観発 219	観 光 交 通 論	2		2		○	○	○	
	観発 320	沖 縄 観 光	3		2		◎	○	○	
	観発 121	レジャー・レクリエーション論	1	2			●	●	●	
	観発 222	行 政 法	2		2		○	○	○	
	観発 223	財 政 学	2		2		○	○	○	
	観発 224	国 際 経 済 論	2		2		○	○	○	
	観発 225	地 方 自 治 論	2		2		○	○	○	
	観発 226	市 場 調 査 論	2		2		○	◎	○	
	観発 327	経 済 政 策	3		2		○	◎	○	
	観発 328	地域マーケティング論	3		2		○	◎	◎	マーケティング論
	観発 229	日 本 の 歴 史 I	2		2		◎	○	◎	
	観発 230	日 本 の 歴 史 II	2		2		◎	○	○	
	観発 231	世 界 の 歴 史	2		2		◎	○	◎	
	備 考	・観光政策コース：必修科目、観光事業論及び観光地理学の4単位に加えて、選択必修科目の中から8単位を含む22単位以上修得すること。 ・観光経営コース：必修科目に加え、選択必修科目を含む12単位以上修得すること。 ・観光文化・環境コース：必修科目に加え、選択必修科目を含む10単位以上修得すること。								
観光経営科目	観発 232	観 光 産 業 論	2	2			●	●	●	
	観発 333	交 通 産 業 論	3		2		○	○	○	
	観発 234	ホスピタリティ概論	2		2		◎	○	◎	
	観発 335	ホ テ ル 経 営 論	3		2		◎	◎	○	ホスピタリティ概論
	観発 336	ホ テ ル 計 画 論	3		4		◎	○	○	
	観発 237	旅 行 業 経 営 論	2		4		○	◎	○	
	観発 238	旅 行 業 法 と 約 款	2		2		○	○	○	旅行業経営論
	観発 339	ホスピタリティマネジメント論	3		2		○	○	◎	
	観発 140	上 級 簿 記	1		4		○	◎	○	簿記原理
	観発 241	会 社 法	2		2		○	◎	○	
	観発 242	流 通 論	2		2		○	◎	○	

区分	科目番号	科目名	受講年次	単位数			履修コース			履修前提科目等
				必修	選択	自由	観光政策	観光経営	観光文化・環境	
観光経営科目	観発 243	マーケティング論	2	2			●	●	●	
	観発 344	中小企業論	3		2		○	◎	◎	
	観発 245	原価計算	2		2		○	◎	○	簿記原理
	観発 246	経営組織論	2		2		○	◎	○	
	観発 247	経営戦略論	2		2		○	◎	○	
	観発 248	会計学原理	2		2		○	◎	○	
	観発 349	ベンチャービジネス	3		2		○	◎	◎	
	観発 250	経営管理論	2		2		○	○	○	
	観発 251	問題解決の心理学	2		2		○	○	○	
	観発 352	人的資源管理論	3		2		○	○	○	
	観発 453	グローバル・ビジネス論	4		2		○	◎	○	
	観発 354	産業情報論	3		2		○	○	○	
	観発 455	経営分析論	4		2		○	◎	○	簿記原理
	観発 356	組織心理学	3		2		○	◎	○	
	観発 357	対人コミュニケーション論	3		2		○	○	○	
	観発 358	チームマネジメントの心理学	3		2		○	○	○	
	観発 359	職業指導Ⅰ	3		2		○	◎	○	※教職科目 (商業)
	観発 360	職業指導Ⅱ	3		2		○	◎	○	
	備考	・観光政策コース：必修科目に加え、選択必修科目を含む6単位以上修得すること。 ・観光経営コース：必修科目に加え、選択必修科目の中から12単位を含む24単位以上修得すること。 ・観光文化・環境コース：必修科目に加え、選択必修科目を含む6単位以上修得すること。								
観光文化・環境科目	観発 361	健康と長寿	3		2		○	○	◎	
	観発 362	余暇社会学	3		2		○	○	◎	
	観発 163	地球の環境とその保全	1		2		◎	○	◎	
	観発 264	エコツーリズムⅠ	2		2		◎	○	◎	
	観発 365	エコツーリズムⅡ	3		2		○	○	◎	エコツーリズムⅠ
	観発 366	自然観察指導法	3		4		○	○	◎	
	観発 367	環境アセスメント論Ⅰ	3		2		○	○	◎	
	観発 368	環境アセスメント論Ⅱ	3		2		○	○	◎	環境アセスメント論Ⅰ
	観発 269	環境調査法	2		4		○	○	◎	
	観発 270	観光文化論	2		2		◎	○	◎	
	観発 271	沖縄の自然と植物	2		2		◎	○	◎	
	観発 272	島嶼文化論	2		2		◎	○	◎	
	観発 173	比較宗教論	1		2		◎	○	◎	
	観発 374	日本史史料講読	3		2		◎	○	◎	
	観発 275	日本の宗教	2		2		◎	○	◎	
	備考	・観光政策コース：選択必修科目4単位を含む8単位以上修得すること。 ・観光経営コース：選択科目の中から2単位以上修得すること。 ・観光文化・環境コース：選択必修科目の中から20単位以上修得すること。								
国際観光科目	観発 276	国際観光論	2	2			●	●	●	観光学概論
	観発 277	観光実用中国語	2		2		○	○	◎	中国語Ⅰ、中国語Ⅱ
	観発 278	観光実用韓国語	2		2		○	○	◎	韓国語Ⅰ、韓国語Ⅱ
	観発 279	観光実用英語Ⅰ	2		2		○	○	◎	
	観発 280	観光実用英語Ⅱ	2		2		○	○	○	観光実用英語Ⅰ
	観発 281	アジアの歴史	2		2		◎	○	◎	
	観発 282	中南米の歴史	2		2		◎	○	◎	
	観発 383	外書講読	3		2		○	○	○	

【別表 4】外国人留学生対象科目（外国語教育科目）（第 3 条関係）

区分	科目 番号	科 目 名	受講年 次	単位数			履修前提科目等
				必修	選択	自由	
外国人留学生対象科目	外日 101	日 本 語 I — 1	1		2		
	外日 102	日 本 語 I — 2	1		2		
	外日 103	日 本 語 I — 3	1		2		
	外日 104	日 本 語 I — 4	1		2		
	外日 105	日 本 語 II — 1	1		2		
	外日 106	日 本 語 II — 2	1		2		
	外日 107	日 本 語 II — 3	1		2		
	外日 108	日 本 語 II — 4	1		2		
	外日 109	日 本 語 III — 1	1		2		
	外日 110	日 本 語 III — 2	1		2		
	外日 111	日 本 語 III — 3	1		2		
	外日 112	日 本 語 III — 4	1		2		
	外日 113	日 本 語 IV — 1	1		2		
	外日 114	日 本 語 IV — 2	1		2		
	外日 115	日 本 語 IV — 3	1		2		
	外日 116	日 本 語 IV — 4	1		2		
	外日 117	留学生のためのアカデミックライティング	1		2		
	外日 118	日 本 語 演 習	1		2		
	外日 119	日 本 事 情 I	1		2		
	外日 120	日 本 事 情 II	1		2		
	外日 121	日 本 事 情 III	1		2		
	備 考	・外国人留学生対象科目（外国人留学生のみ） ・英語圏外からの外国人留学生については、上記の日本語科目のうち 4 単位を、外国語科目のベーシック・イングリッシュ、イングリッシュ・コミュニケーションの 4 単位にすることができる（アカデミック英語基礎の単位にすることはできないので注意すること）。 ・英語圏内からの外国人留学生については、ベーシック・イングリッシュ、イングリッシュ・コミュニケーションを履修することができないため、上記の日本語科目から少なくとも 4 単位修得すること。					

【別表5】【国際学部】3年次進級の履修要件を示す科目（第3条、第12条関係）

教養教育科目

区分	科目番号	科目名	受講年次	単位数			進級要件
				必修	選択	自由	
共通コア科目	アカデミックスキル科目	共ア 101	教 養 演 習 I	1	2		必修科目を含め、14単位修得すること。
		共ア 102	教 養 演 習 II	1	2		
		共ア 103	コンピュータ・リテラシー	1		2	
		共ア 104	数理・データサイエンス・AI 入門	1		2	
		共ア 105	アカデミックライティング I	1	2		
共通選択科目	デザイン科目	共ラ 101	大 学 と 人 生	1	2		
	外国語科目	共外 101	ベーシック・イングリッシュ	1	2		
		共外 102	イングリッシュ・コミュニケーション	1	2		

専門教育科目（演習科目）

区分	科目番号	科目名	受講年次	単位数			進級要件
				必修	選択	自由	
演習科目	文演 201	国 際 文 化 基 礎 演 習	2	2			2 単位以上修得すること。
	観演 201	国 際 観 光 産 業 基 礎 演 習	2	2			※卒業要件を必ず確認すること。

【別表6】【国際学部】名桜大学副専攻（地域マネジメント）（第3条関係）
国際文化学科

区分	科目番号	科目名	受講年次	単位数			履修条件
				必修	選択	自由	
共通コア科目	アカデミックスキル	共ア 101	教 養 演 習 I	1	2		必修科目を含め、8単位以上修得すること。
	ライフデザイン	共ラ 101	大 学 と 人 生	1	2		
		共ラ 104	プ ロ ジ ェ ク ト 学 習	2	2		
	沖縄理解	共沖 101	沖 縄 学	1	2		
		共沖 102	沖 縄 の 自 然	1	2		
		共沖 103	沖 縄 の 言 語	1	2		
		共沖 104	沖 縄 理 解 特 別 講 義	1	2		
専門基礎科目	社会科学系科目	文基 118	観 光 学 概 論	1	2		16単位以上修得すること。 ※16単位に国際観光産業学科の専門基礎科目、専門発展・応用科目を含めることができる。（科目は下記の表を参照すること。）
		文基 119	地 域 研 究 方 法 論	1	2		
	自然科学系科目	文基 230	沖 縄 の 天 然 記 念 物	2	2		
		文基 231	島 嶼 環 境 論	2	2		
専門発展・応用科目	地域文化系科目	文発 201	沖 縄 の 社 会	2	2		
		文発 202	沖 縄 の 社 会 と 教 育	2	2		
		文発 203	沖 縄 地 域 文 化 論	2	2		
		文発 204	沖 縄 の 地 域 史	2	2		
	国際文化系科目	文発 323	移 民 と 異 文 化	3	2		
	日本語・日本文学系科目	文発 259	琉 球 語 学 概 論	2	2		
		文発 268	南 島 歌 謡	2	2		
		文発 269	沖 縄 の 文 学	2	2		
	実践科目	文発 272	地 域 文 化 演 習	2	2		
		文発 273	現 地 実 習	2	4		
	特別講義	文特 101	国 際 学 部 特 別 講 義	1	2		

国際観光産業学科

区分	科目番号	科目名	受講年次	単位数			履修条件
				必修	選択	自由	
共通コア科目	アカデミックスキル	共ア 101	教 養 演 習 I	1	2		必修科目を含め、8単位以上修得すること。
	ライフデザイン	共ラ 101	大 学 と 人 生	1	2		
		共ラ 104	プ ロ ジ ェ ク ト 学 習	2	2		
	沖縄理解	共沖 101	沖 縄 学	1	2		
		共沖 102	沖 縄 の 自 然	1	2		
		共沖 103	沖 縄 の 言 語	1	2		
		共沖 104	沖 縄 理 解 特 別 講 義	1	2		
専門基礎科目	社会科学系科目	観基 109	観 光 学 概 論	1	2		16単位以上修得すること。 ※16単位に国際文化学科の専門基礎科目、専門発展・応用科目を含めることができる。（科目は上記の表を参照すること。）
		観基 110	観 光 学 総 論	1	2		
		観基 111	地 域 研 究 方 法 論	1	2		
	自然科学系科目	観基 227	沖 縄 の 天 然 記 念 物	2	2		
専門発展・応用科目	観光地形成科目	観発 201	観 光 事 業 論	2	2		
		観発 202	観 光 開 発 論 I	2	2		
		観発 303	観 光 開 発 論 II	3	2		
		観発 304	観 光 政 策 論	3	2		
		観発 306	地 域 経 済 学	3	2		
		観発 307	観 光 経 済 学	3	2		
		観発 209	観 光 地 理 学	2	2		
		観発 320	沖 縄 観 光	3	2		
		観発 121	レジャー・レクリエーション論	1	2		
		観発 327	経 済 政 策	3	2		
		観発 328	地 域 マーケティング論	3	2		
	観光経営科目	観発 232	観 光 産 業 論	2	2		
		観発 242	流 通 論	2	2		
		観発 243	マ ー ケ テ ィ ン グ 論	2	2		
		観発 344	中 小 企 業 論	3	2		
		観発 247	経 営 戦 略 論	2	2		
		観発 349	ベンチャービジネス	3	2		

区分		科目 番号	科 目 名	受講 年次	単位数			履修条件
					必修	選択	自由	
専門発展・応用科目	観光文化・環境科目	観発 264	エ コ ツ ー リ ズ ム I	2		2		
		観発 365	エ コ ツ ー リ ズ ム II	3		2		
	実践科目	観発 384	イ ン タ ー ン シ ッ プ I	3		1		
		観発 385	イ ン タ ー ン シ ッ プ II	3		2		
		観発 387	ホ テ ル 実 務	3		6		
		観発 388	観 光 関 連 実 務	3		6		
	観光関連科目	観発 294	空	2		1		
		観発 290	ウ ェ ル ネ ス 概 論	2		2		
	特別講義	観特 101	国 際 学 部 特 別 講 義	1		2		

【別表 7】【国際学部国際文化学科】日本語教師養成課程（第 3 条関係）

科目区分	授業科目名	単位数		備 考
		必修	選択	
言語 (必修科目を含 め 10 単位以 上)	日本語学概論	2		【履修条件】 ①各区分の必要単位数を満たした上で <u>合計 26 単位以上</u> を修得すること。 ②成績はすべて「 <u>良</u> 」以上の科目のみを修了証取得の対象とする。 ③「日本語教育実践演習」の履修は、原則、 <u>必修科目 4 科目が「優」以上</u> である者のみ履修を認める。 ④必修科目である 5 科目は、本学で履修した者に限る。
	日本語史	2		
	現代日本語論	2		
	日本語理解論		2	
	言語と文学		2	
	言語学概論Ⅰ		2	
	言語学概論Ⅱ		2	
言語と教育 (必修科目を含 め 6 単位以上)	日本語教授法	2		
	日本語教育実践演習	2		
	国際コミュニケーション論		2	
	日本語表現論		2	
社会・文化・地 域 (4 単位以上)	沖縄学		2	
	漢文学概論Ⅰ		2	
	日本文化概論		2	
	日本の歴史Ⅱ		2	
	日本古典文学論		2	
言語と社会 (4 単位以上)	国際社会と日本		2	
	英米文化概論Ⅰ		2	
	沖縄の文学		2	
	国際政治論		2	
	沖縄の社会		2	
	日本近代文学論		2	
言語と心理 (2 単位以上)	異文化接触論		2	
	社会心理学		2	
	人間関係論		2	

【別表 8】【国際学部国際観光産業学科】観光実務士課程（第 3 条関係）

科目区分	授業科目名	単位数		備 考
		必修	選択	
領域 1 観光ビジネス実 務の基礎となる 知識・スキル・基 本能力の領域	観光学概論 観光学総論 レジャー・レクリエーション論 観光政策論 観光経済学 観光行動論 観光開発論Ⅰ 観光地理学 観光実用英語Ⅰ 教養演習Ⅰ 教養演習Ⅱ 観光実用韓国語 観光実用中国語 観光文化論	2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	【資格取得要件】 ①各科目区分の必修科目を含め <u>合計 20 単位以上</u> 修得すること。 ②成績は全て「 <u>良</u> 」以上の科目 のみを対象とする。 （例えば、「可」の場合は、本資 格の申請の単位としてカウント されない。） ③領域ごとの単位に関しては特 に指定なし。
領域 2 観光ビジネス実 務を支える専門 知識・スキルとそ の活用力の領域	観光事業論 観光産業論 インターンシップⅠ エコツーリズムⅡ 旅行業経営論 ホテル計画論 交通産業論 観光関連法規 観光調査法 ホスピタリティマーケティング 論 ホスピタリティマネジメント論 観光資源論 ホテル経営論 イベント事業論 国際コンベンションビジネス	2 2	2 2 4 4 2 2 4 4 2 2 2 2 2 2	
領域 3 観光実務の総合 的実践力と学修 継続力の領域	国際観光産業専門演習Ⅰ 国際観光産業専門演習Ⅱ 海外インターンシップ ホテル実務 観光関連実務 国際観光産業専門演習Ⅲ 国際観光産業専門演習Ⅳ	2 2	4 6 6 2 2	

【別表 9】各教科の指導法及び教職に関する科目(全学共通科目)(第3条関係)

区分	科目 番号	科 目 名	受講 年次	単位数			履修前提科目等
				必修	選択	自由	
各 教 科 の 指 導 法	教英 301	英 語 科 教 育 法 I	3			4	
	教英 302	英 語 科 教 育 法 II	3			4	英語科教育法 I
	教地 301	地 理 歴 史 科 教 育 法 I	3			2	
	教地 302	地 理 歴 史 科 教 育 法 II	3			2	地理歴史科教育法 I
	教商 301	商 業 科 教 育 法 I	3			2	
	教商 302	商 業 科 教 育 法 II	3			2	商業科教育法 I
	教保 301	保 健 体 育 科 教 育 法 I	3			2	
	教保 302	保 健 体 育 科 教 育 法 II	3			2	保健体育科教育法 I
	教保 303	保 健 体 育 科 教 育 法 III	3			2	保健体育科教育法 II
	教保 304	保 健 体 育 科 教 育 法 IV	3			2	保健体育科教育法 III
	教情 301	情 報 科 教 育 法 I	3			2	
	教情 302	情 報 科 教 育 法 II	3			2	情報科教育法 I
教育の基礎的理解に 関する科目	教共 101	教 育 原 理	1			2	
	教共 102	教 職 概 論	1			2	
	教共 201	教 育 制 度 論	2			2	
	教共 202	教 育 心 理 学	2			2	
	教共 203	特 別 支 援 教 育	2			2	
	教共 204	教 育 課 程 論	2			2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法 及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教共 301	道 徳 教 育 の 理 論 と 方 法	3			2	※中免・養護のみ
	教共 205	総合的な学習の時間の指導法	2			2	
	教共 206	特 別 活 動 の 指 導 法	2			2	
	教共 302	教 育 方 法 (ICT の活用を含む。)	3			2	
	教共 303	生徒指導の理論及び方法	3			2	
	教共 304	教 育 相 談	3			2	
	教共 305	進 路 指 導 論	3			2	※養護は除く

区分	科目 番号	科 目 名	受講 年次	単位数			履修前提科目等
				必修	選択	自由	
教育（養護）実践に関する科目	教実 301	中 学 校 教 育 実 習 事 前 指 導	3			1	※中免のみ ※事後指導含む
	教実 302	高 等 学 校 教 育 実 習 事 前 指 導	3			1	※高免のみ ※事後指導含む
	養実 301	養 護 実 習 事 前 指 導	3			1	※養護のみ
	教実 401	中 学 校 教 育 実 習	4			4	
	教実 402	高 等 学 校 教 育 実 習	4			2	
	養実 401	養 護 実 習	4			4	※養護のみ
	教実 403	教 職 実 践 演 習 （ 中 ・ 高 ）	4			2	※養護は除く
	養実 402	教 職 実 践 演 習 （ 養 護 ）	4			2	※養護のみ
大学が独自に 設定する科目	教自 301	介 護 等 体 験	3			1	※社会福祉施設 ※特別支援学校
備 考		※取得を希望する免許状の種類によって履修要件が異なるため、細心の注意を払って履修すること。					

【別表１０（第３条２関係）】教育職員免許状の所要資格に必要な授業科目の種類、単位数及び必修又は選択の別

１ 中学校教諭一種免許状（英語）

教育職員免許法施行規則に定める科目区分及び免許状取得に必要な最低単位数				授業科目の名称	単位数		本学における免許状取得に必要な最低単位数	備考
科目区分			単位数		必修	選択		
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	英語学	教育の基礎的理解に関する科目27単位	英語音声学	2	2	20単位以上	必修及び選択の別は、教育職員免許状を取得する上で必修・選択の別であり、卒業要件としての必修・選択の別とは異なるものであること。
		英文法		2				
		英語文学	イギリス文学	2	2			
		英語コミュニケーション	アメリカ文学	2				
	異文化理解	教科及び教科の指導法に関する科目28単位	高等英語オーラル・コミュニケーション	2	2			
高等英作文			2					
高等英語講読			2					
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	大学が独自に設定する科目4単位	高等英語リスニング	2	2				
		英米文化概論Ⅰ	2		2			
		英米文化概論Ⅱ	2					
		異文化コミュニケーション論	2					
		英語科教育法Ⅰ	4					
英語科教育法Ⅱ	4							
教育の基礎的理解に関する科目等	教育の基礎的理解に関する科目	教職概論	2	1 2				
		教育原理	2					
		教育制度論	2					
		教育心理学	2					
		特別支援教育	2					
		教育課程論	2					
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目		総合的な学習の時間の指導法	2	1 4			
			特別活動の指導法	2				
			道徳教育の理論と方法	2				
			教育方法（ICTの活用を含む。）	2				
			生徒指導の理論及び方法	2				
			教育相談	2				
教育実践に関する科目		進路指導論	2	7				
		中学校教育実習事前指導	1					
		中学校教育実習教職実践演習（中・高）	4					
大学が独自に設定する科目 ※ ¹			介護等体験	1				
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法		憲法	2				
	体育		体育実技Ⅰ 体育実技Ⅱ	1 1				
	外国語コミュニケーション		ベーシック・イングリッシュ イングリッシュ・コミュニケーション	2 2				
	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作		コンピュータ・リテラシー	2				

※¹「大学が独自に設定する科目」の最低修得単位数は、4単位である。

「教育の基礎的理解に関する科目等」又は「教科及び教科の指導法に関する科目」の超過修得単位数については、「大学が独自に設定する科目」の修得単位数として換算される。

2 高等学校教諭一種免許状（英語）

教育職員免許法施行規則に定める科目区分及び免許状取得に必要な最低単位数				授業科目の名称	単位数		本学における免許状取得に必要な最低単位数	備考	
科目区分			単位数		必修	選択			
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	英語学	教育の基礎的理解に関する科目23単位	英語音声学 英文法 言語学概論Ⅰ 英語学概論	2 2		20単位以上 必修16単位 他、選択科目から4単位修得すること。	必修及び選択の別は、教育職員免許状を取得する上での必修・選択の別であり、卒業要件としての必修・選択の別とは異なるものであること。	
		英語文学		イギリス文学 アメリカ文学	2 2				
		英語コミュニケーション	教科及び教科の指導法に関する科目24単位	高等英語オーラル・コミュニケーション 高等英作文 高等英語講読 高等英語リスニング	2 2	2 2			
		異文化理解		英米文化概論Ⅰ 英米文化概論Ⅱ 異文化コミュニケーション論	2 2	2			
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）			12単位	英語科教育法Ⅰ 英語科教育法Ⅱ	4 4			
教育の基礎的理解に関する科目等	教育の基礎的理解に関する科目	大学が独自に設定する科目12単位	教職概論 教育原理 教育制度論 教育心理学 特別支援教育 教育課程論	2 2 2 2 2 2		1 2			
			総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法 教育方法（ICTの活用を含む。） 生徒指導の理論及び方法 教育相談 進路指導論	2 2 2 2 2 2					
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目		高等学校教育実習事前指導 高等学校教育実習 教職実践演習（中・高）	1 2 2		5	（事後指導含む）		
	教育実践に関する科目								
	大学が独自に設定する科目 ※ ¹				—		1 2		
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法			憲法	2				
	体育			体育実技Ⅰ 体育実技Ⅱ	1 1				
	外国語コミュニケーション			ベーシック・イングリッシュ イングリッシュ・コミュニケーション	2 2				
	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作			コンピュータ・リテラシー	2				

※¹「大学が独自に設定する科目」の最低修得単位数は、12単位である。

「教育の基礎的理解に関する科目等」又は「教科及び教科の指導法に関する科目」の超過修得単位数については、「大学が独自に設定する科目」の修得単位数として換算される。

4 高等学校教諭一種免許状（地理歴史）

教育職員免許法施行規則に定める科目区分及び免許状取得に必要な最低単位数				授業科目の名称	単位数		本学における免許状取得に必要な最低単位数	備考
科目区分			単位数		必修	選択		
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	日本史	教育の基礎的理解に関する科目23単位	日本の歴史Ⅰ	2		20単位以上	必修及び選択の別は、教育職員免許状を取得する上での必修・選択の別であり、卒業要件としての必修・選択の別とは異なるものであること。
				日本の歴史Ⅱ	2			
				日本史史料購読		2		
				世界史概論	2			
	外国史		世界の歴史		2	必修12単位		
			西欧経済史		2			
	人文地理学及び自然地理学		人文地理学	2		他、選択科目から8単位修得すること。		
			観光地理学		2			
	地誌		自然地理学概論	2		2		
			地球の環境とその保全		2			
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）			地誌学	2		2		
			沖縄の天然記念物		2			
			島嶼環境論		2			
			地理歴史科教育法Ⅰ	2				
			地理歴史科教育法Ⅱ	2				
教育の基礎的理解に関する科目等		教育の基礎的理解に関する科目	大学が独自に設定する科目12単位	教職概論	2		1 2	
				教育原理	2			
				教育制度論	2			
				教育心理学	2			
				特別支援教育	2			
				教育課程論	2			
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目				総合的な学習の時間の指導法	2		1 2
					特別活動の指導法	2		
					教育方法（ICTの活用を含む。）	2		
					生徒指導の理論及び方法	2		
					教育相談	2		
					進路指導論	2		
教育実践に関する科目			高等学校教育実習事前指導	1		5		
			高等学校教育実習	2				
			教職実践演習（中・高）	2				
大学が独自に設定する科目 ※ ¹				－		1 2	（事後指導含む）	
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法		憲法	2				
	体育		体育実技Ⅰ 体育実技Ⅱ	1 1				
	外国語コミュニケーション		ベーシック・イングリッシュ イングリッシュ・コミュニケーション	2 2				
	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作		コンピュータ・リテラシー	2				

※¹「大学が独自に設定する科目」の最低修得単位数は、12単位である。

「教育の基礎的理解に関する科目等」又は「教科及び教科の指導法に関する科目」の超過修得単位数については、「大学が独自に設定する科目」の修得単位数として換算される。

3 高等学校教諭一種免許状（商業）

教育職員免許法施行規則に定める科目区分及び免許状取得に必要な最低単位数				授業科目の名称	単位数		本学における免許状取得に必要な最低単位数	備考
科目区分			単位数		必修	選択		
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	商業関係科目	教育の基礎的理解に関する科目23単位	経営学総論	2		20単位以上 必修16単位の他、選択科目から4単位修得すること。	必修及び選択の別は、教育職員免許状を取得する上での必修・選択の別であり、卒業要件としての必修・選択の別とは異なるものであること。
				簿記原理	4			
				上級簿記		4		
				ミクロ経済学		2		
				マクロ経済学		2		
				マーケティング論	2			
				流通論	2			
				会社法		2		
				会計学原理		2		
				原価計算		2		
教育の基礎的理解に関する科目等	教科及び教科の指導法に関する科目	職業指導	大学が独自に設定する科目24単位	経済政策		2	20単位以上 必修16単位の他、選択科目から4単位修得すること。	必修及び選択の別は、教育職員免許状を取得する上での必修・選択の別であり、卒業要件としての必修・選択の別とは異なるものであること。
				観光学概論	2			
				観光事業論		2		
				職業指導Ⅰ	2			
				職業指導Ⅱ	2			
				商業科教育法Ⅰ	2			
				商業科教育法Ⅱ	2			
				教職概論	2			
				教育原理	2			
				教育制度論	2			
教育の基礎的理解に関する科目等	教育の基礎的理解に関する科目	教育実践に関する科目	大学が独自に設定する科目12単位	教育心理学	2		1 2	(事後指導含む)
				特別支援教育	2			
				教育課程論	2			
				総合的な学習の時間の指導法	2			
				特別活動の指導法	2			
				教育方法(ICTの活用を含む。)	2			
				生徒指導の理論及び方法	2			
				教育相談	2			
				進路指導論	2			
				高等学校教育実習事前指導	1			
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	教科及び教科の指導法に関する科目	職業指導	大学が独自に設定する科目12単位	高等学校教育実習	2		5	(事後指導含む)
				教職実践演習(中・高)	2			
				憲法	2			
				体育実技Ⅰ	1			
				体育実技Ⅱ	1			
				ベーシック・イングリッシュ	2			
				イングリッシュ・コミュニケーション	2			
				数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2			
				コンピュータ・リテラシー	2			
				大学が独自に設定する科目 ※ ¹	—			

※¹「大学が独自に設定する科目」の最低修得単位数は、12単位である。

「教育の基礎的理解に関する科目等」又は「教科及び教科の指導法に関する科目」の超過修得単位数については、「大学が独自に設定する科目」の修得単位数として換算される。

【別表 11】卒業に必要な単位数（第4条関係）

国際学部国際文化学科

授業科目の区分				単位数	備考
国際文化学科	教養教育科目	共通コア科目	アカデミックスキル科目	8単位以上	42単位以上
			ライフデザイン科目	2単位以上	
			思想と論理科目	2単位以上	
			沖縄理解科目	2単位以上	
			健康スポーツ科目	2単位以上	
		共通選択科目	外国語科目	10単位以上	
			国際理解科目	4単位以上	
			人文科学科目	4単位以上	
			社会科学科目	4単位以上	
			自然科学科目	4単位以上	
	専門教育科目	専門基礎科目	専門基礎科目	14単位以上	66単位以上
			専門発展・応用科目	40単位以上	
			演習科目	12単位以上	
		自由選択科目	16単位以上	16単位以上	
合計				124単位以上	124単位以上

国際学部国際観光産業学科

授業科目の区分				単位数	備考
国際観光産業学科	教養教育科目	共通コア科目	アカデミックスキル科目	8単位以上	42単位以上
			ライフデザイン科目	2単位以上	
			思想と論理科目	2単位以上	
			沖縄理解科目	2単位以上	
			健康スポーツ科目	2単位以上	
		共通選択科目	外国語科目	10単位以上	
			国際理解科目	4単位以上	
			人文科学科目	4単位以上	
			社会科学科目	4単位以上	
			自然科学科目	4単位以上	
	専門教育科目	専門基礎科目		必修 6単位以上 選択必修、選択 8単位以上	66単位以上
		専門発展・応用科目		必修 8単位以上 選択必修、選択 32単位以上	
		演習科目		12単位以上	
	自由選択科目			16単位以上	16単位以上
合計			124単位以上	124単位以上	

【人間健康学部看護学科】教養教育科目

科目区分		科目番号	科目名	受講 年次	単位数			授業形態			履修前提科目等
					必修	選択	自由	講義	演習	実験実習	
共通コア科目	アカデミック スキル	共ア 101	教 養 演 習 I	1	2				○		教養演習 I
		共ア 102	教 養 演 習 II	1	2				○		
		共ア 103	コンピュータ・リテラシー	1	2				○		
		共ア 104	数理・データサイエンス・ A I 入 門	1		2		○			
		共ア 105	アカデミックライティング I	1	2			○			
		共ア 106	アカデミックライティング II	1		2		○			
		共ア 107	アカデミックスキル特別講義	1		2		○			
	備 考		必修科目を含め、8 単位以上修得すること。								
	デザイン	共ラ 101	大 学 と 人 生	1	2			○			
		共ラ 102	ライフデザイン特別講義	1		2		○			
		共ラ 201	キャリアデザイン	2		2			○		
		共ラ 202	プロジェクト学習	2		2				○	
	備 考		必修科目を含め、2 単位以上修得すること。								
	思想と論理	共思 101	人 間 と 環 境	1		2		○			
		共思 102	生 命 と 倫 理	1		2		○			
		共思 103	科 学 入 門	1		2		○			
		共思 104	論 理 学	1		2		○			
		共思 105	現 代 思 想	1		2		○			
		共思 106	思 想 と 論 理 特 別 講 義	1		2		○			
	備 考		2 単位以上修得すること。								
	沖縄理解	共沖 101	沖 縄 学	1		2		○			
		共沖 102	沖 縄 の 自 然	1		2		○			
		共沖 103	沖 縄 の 言 語	1		2		○			
		共沖 104	沖 縄 理 解 特 別 講 義	1		2		○			
	備 考		2 単位以上修得すること。								
	健康スポーツ	共健 101	体 育 実 技 I	1		1				○	
		共健 102	体 育 実 技 II	1		1				○	
		共健 103	健 康 ・ ス ポ ー ツ 科 学	1		2		○			
		共健 104	健康スポーツ特別講義	1		2		○			
		共健 105	健康スポーツ特別実技	1		1				○	
	備 考		2 単位以上修得すること。								
共通選択科目	外国語	共外 101	ベーシック・イングリッシュ	1	2			○			
		共外 102	イングリッシュ・コミュニケーション	1		2		○			
		共外 103	ド イ ツ 語 I	1		2		○			
		共外 104	ド イ ツ 語 II	1		2		○			
		共外 105	フ ラ ン ス 語 I	1		2		○			
		共外 106	フ ラ ン ス 語 II	1		2		○			
		共外 107	ス ペ イ ン 語 I	1		2		○			
		共外 108	ス ペ イ ン 語 II	1		2		○			
		共外 109	ポ ル ト ガ ル 語 I	1		2		○			
		共外 110	ポ ル ト ガ ル 語 II	1		2		○			
		共外 111	中 国 語 I	1		2		○			
		共外 112	中 国 語 II	1		2		○			
		共外 113	韓 国 語 I	1		2		○			
		共外 114	韓 国 語 II	1		2		○			
		共外 115	タ イ 語 I	1		2		○			
		共外 116	タ イ 語 II	1		2		○			
		共外 117	外 国 語 特 別 講 義 I	1		2		○			
		共外 123	外 国 語 特 別 講 義 II	1		2		○			
		共外 201	アカデミック英語基礎	2		2		○			
		共外 202	フランクティカル・イングリッシュ I	2		2		○			
		共外 203	フランクティカル・イングリッシュ II	2		2		○			
		共外 204	ビ ジ ネ ス 英 語 I	2		2		○			

科目区分	科目番号	科目名	受講 年 次	単位数			授業形態			091 履修前提科目等
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験 実 習	
	共外 205	ビ ジ ネ ス 英 語 II	2		2		○			
備 考		必修科目を含め、4 単位以上修得すること。								
国際理解	共国 101	国 際 学 入 門	1		2		○			
	共国 102	異 文 化 接 触 論	1		2		○			
	共国 103	国 際 社 会 と 日 本	1		2		○			
	共国 104	人 権 と 平 和	1		2		○			
	共国 105	国際コミュニケーション論	1		2		○			
	共国 106	海 外 ス タ デ ィ ャー	1		2				○	
	共国 107	国 際 理 解 特 別 講 義	1		2		○			
備 考		2 単位以上修得すること。								
人文科学	共人 101	音 楽 の 歴 史 と 鑑 賞	1		2		○			
	共人 102	美 術 の 歴 史 と 鑑 賞	1		2		○			
	共人 103	哲 学	1		2		○			
	共人 104	心 理 学	1		2		○			
	共人 105	歴 史 学	1		2		○			
	共人 106	教 育 学	1		2		○			
	共人 107	ヒ ュ ー マン ケ ア リ ン グ	1		2		○			
	共人 108	文 学	1		2		○			
	共人 109	人 文 科 学 特 別 講 義	1		2		○			
備 考		2 単位以上修得すること。								
社会科学	共社 101	法 学	1		2		○			
	共社 102	憲 法	1		2		○			
	共社 103	政 治 学	1		2		○			
	共社 104	経 済 学	1		2		○			
	共社 105	経 営 学	1		2		○			
	共社 106	社 会 学	1		2		○			
	共社 107	人 文 地 理 学	1		2		○			
	共社 108	社 会 科 学 特 別 講 義	1		2		○			
備 考		2 単位以上修得すること。								
自然科学	共自 101	数 学	1		2		○			
	共自 102	統 計 学	1	2			○			
	共自 103	物 理 学	1		2		○			
	共自 104	化 学	1		2		○			
	共自 105	生 物 学	1		2		○			
	共自 106	地 学	1		2		○			
	共自 107	情 報 科 学 と 社 会	1		2		○			
	共自 108	自 然 科 学 特 別 講 義	1		2		○			
備 考		必修科目を含め、2 単位以上修得すること。								

【人間健康学部看護学科】専門基礎教育科目及び専門教育科目

科目区分		科目番号	科目名	受 講 年 次	単位数			授業形態			前提科目・前提条件	
					必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験 実 習		
専門基礎教育科目	人体の構造と機能 疾病の成り立ちと 回復の促進	看101	解 剖 生 理 学 I	1	2			○				
		看102	解 剖 生 理 学 II	1	2			○				
		看103	病態生理学 (含：病理学)	1	2			○				
		看104	栄 養 ・ 生 化 学	1	2			○				
		看105	精 神 保 健	2	2			○				
		看106	病態治療学Ⅰ (内科系疾患)	2	2			○				
		看107	病態治療学Ⅱ (外科系疾患)	2	2			○				
		看108	症 候 学 I	3	1			○				
		看109	症 候 学 II	4		1		○				
		看110	臨 床 薬 理 学	2	2			○				
		看111	微 生 物 学	2	1			○				
	備 考		必修科目 18 単位修得すること。									
	健康支援と社会保障制度	看121	人 間 関 係 論	1	1			○				
		看122	生 涯 発 達 論	1	1			○				
		看123	家族社会学 (含：ジェンダー論)	1		2		○				
		看124	医 療 英 語	1	2			○				
		看125	公 衆 衛 生 学	2	1			○				
		看126	保 健 統 計 学	2		2			○			
		看127	疫 学	2		2		○				
		看128	保 健 福 祉 行 政 論 I	2	2			○				
		看129	保 健 福 祉 行 政 論 II	2		1		○				
		看130	産 業 保 健 学	2		1		○				
		看131	保 健 行 動 論	2		1		○				
備 考		必修科目 8 単位修得すること。										

【人間健康学部看護学科】専門基礎教育科目及び専門教育科目

科目区分		科目番号	科目名	受講 年次	単位数			授業形態			前提科目・前提条件	
					必修	選択	自由	講義	演習	実験実習		
専門教育科目	専門分野	基礎看護学	看 201	看護学概論	1	2			○			なし
			看 202	セルフケア論	1	1				○		なし
			看 203	セルフケア援助技術	1	2				○		看護学概論の単位を修得していること
			看 204	療養生活援助技術	2	2				○		看護学概論の単位を修得していること
			看 205	フィジカルアセスメント	2	2				○		解剖生理学Ⅰの単位を修得していること
			看 206	看護実践論Ⅰ	2	1			○			看護学概論の単位を修得していること
			看 207	看護実践論Ⅱ	2	1				○		看護学概論の単位を修得していること
		備考	必修科目 11 単位修得すること。									
		地域・在宅看護学	看 211	地域・在宅看護学概論	1	1			○			なし
			看 212	沖縄の文化と看護	1	1			○			地域・在宅看護学概論の単位を取得していること。
			看 213	地域包括ケア論	2	1			○			地域・在宅看護学概論、沖縄の文化と看護の単位を修得していること
			看 214	地域・在宅看護方法論	3	2				○		地域保活ケア論の単位を修得していること
			看 215	島嶼・過疎地看護論	4	1			○			地域・在宅看護方法論の科目の単位を修得していること
		備考	必修科目 6 単位修得すること。									
		成人看護学	看 221	成人看護学概論	2	1			○			なし
			看 222	成人看護方法論Ⅰ	3	2				○		基礎看護学の科目、成人看護学概論の単位を修得していること
			看 223	成人看護方法論Ⅱ	3	2				○		基礎看護学の科目、成人看護学概論の単位を修得していること
			看 224	がん看護論	3	1			○			基礎看護学の科目、成人看護学概論の単位を修得していること
		備考	必修科目 6 単位修得すること。									
		母性看護学	看 231	母性看護学概論	2	1			○			なし
			看 232	女性の健康科学	2	1			○			なし
			看 233	母性看護方法論	3	2				○		基礎看護学の科目、母性看護学概論の単位を修得していること
		備考	必修科目 4 単位修得すること。									
		小児看護学	看 241	小児看護学概論	2	1			○			なし
			看 242	こどもの健康科学	2	1			○			なし
			看 243	小児看護方法論	3	2				○		基礎看護学の科目、小児看護学概論の単位を修得していること
		備考	必修科目 4 単位修得すること。									
	高齢者看護学	看 251	高齢者看護学概論	2	1			○			なし	
		看 252	老年学	2	1			○			なし	
		看 253	高齢者看護方法論	3	2				○		基礎看護学の科目、高齢者看護学概論の単位を修得していること	
	備考	必修科目 4 単位修得すること。										
	精神看護学	看 261	精神看護学概論	2	1			○			なし	
		看 262	こころの健康科学	2	1			○			なし	
		看 263	精神看護方法論	3	2				○		基礎看護学の科目、精神看護学概論の単位を修得していること	
	備考	必修科目 4 単位修得すること。										

【人間健康学部看護学科】専門基礎教育科目及び専門教育科目

科目区分			科目番号	科目名	受講 年次	単位数			授業形態			前提科目・前提条件
						必修	選択	自由	講義	演習	実験実習	
専門教育科目	専門分野	看護の統合と実践	看 271	看護倫理	3	1			○			なし
			看 272	キャリアデザインⅠ	1	1				○		なし
			看 273	キャリアデザインⅡ	2	1				○		なし
			看 274	キャリアデザインⅢ	3	1				○		なし
			看 275	キャリアデザインⅣ	4	1				○		なし
			看 276	緩和ケア論	3	1			○			なし
			看 277	感染看護論	2	1			○			なし
			看 278	看護研究方法	3	1			○			基礎看護学の科目の単位を修得していること
			看 279	卒業研究	4	2				○		看護研究方法の単位を修得していること
			看 280	看護実践と理論	4		1		○			なし
			看 281	看護マネジメント論	4	1			○			3 年次までの必修科目を履修していること
			看 282	家族看護学	2	1			○			なし
			看 283	グローバルナーシングⅠ	2	1			○			なし
			看 284	グローバルナーシングⅡ	2・4		2				○	グローバルナーシングⅠの単位を修得していること
			看 285	グローバルナーシングⅢ	2		2			○		グローバルナーシングⅠの単位を修得していること
			看 286	災害看護学Ⅰ	2	1				○		なし
			看 287	災害看護学Ⅱ	4		1			○		災害看護学Ⅰの単位を修得していること
			看 288	公衆衛生看護学概論Ⅰ	2	1			○			なし
			看 289	公衆衛生看護学概論Ⅱ	2		1		○			公衆衛生看護学概論Ⅰの単位を修得していること
	備考			必修科目 15 単位修得すること。								
	臨地実習	看 291	ケアリング文化実習Ⅰ	1	1					○	なし	
		看 292	ケアリング文化実習Ⅱ	1	1					○	なし	
		看 293	ケアリング文化実習Ⅲ	2	1					○	なし	
		看 294	ケアリング文化実習Ⅳ	3	1					○	なし	
		看 295	ケアリング文化実習Ⅴ	4	1					○	なし	
		看 296	基礎看護実習	2	2					○	セルフケア論、セルフケア援助技術、療養生活援助技術の単位を修得していること	
		看 297	地域・在宅看護実習	3	2					○	原則として、地域・在宅看護方法論の単位を修得していること	
		看 298	成人看護実習Ⅰ	3	2					○	原則として、成人看護学方法論Ⅰ、成人看護学方法論Ⅱ、がん看護論の単位を修得していること	
		看 299	成人看護実習Ⅱ	3	2					○	原則として、成人看護方法論Ⅰ、成人看護方法論Ⅱ、がん看護論の単位を修得していること	
		看 300	母性看護実習	3	2					○	原則として、母性看護方法論の単位を修得していること	
		看 301	小児看護実習	3	2					○	原則として、小児看護方法論の単位を修得していること	
		看 302	高齢者看護実習	3	2					○	原則として、高齢者看護方法論の単位を修得していること	
		看 303	精神看護実習	3	2					○	原則として、精神看護方法論の単位を修得していること	
		看 304	総合実習	4	2					○	原則として、全ての実習科目の単位を修得していること	
備考			必修科目 23 単位修得すること。									

科目区分			科目番号	科目名	受講 年次	単位数			授業形態			前提科目・前提条件	
						必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実験 実習		
専門 教育 科目	保健師 教育	公衆衛生看護学	看 311	公衆衛生看護活動論	3		1			○		基礎看護学の科目、全専門領域の概論、公衆衛生看護学概論Ⅰ、公衆衛生看護学概論Ⅱの単位を修得していること	
			看 312	公衆衛生看護方法論Ⅰ	3		2			○		基礎看護学の科目、全専門領域の概論、公衆衛生看護学概論Ⅰ、公衆衛生看護学概論Ⅱの単位を修得していること	
			看 313	公衆衛生看護方法論Ⅱ	3		2			○		基礎看護学の科目、全専門領域の概論、公衆衛生看護学概論Ⅰ、公衆衛生看護学概論Ⅱの単位を修得していること	
			看 314	公衆衛生看護管理論	4		1		○			公衆衛生看護学概論Ⅰ、公衆衛生看護学概論Ⅱ、公衆衛生看護学方法論Ⅰ、公衆衛生看護学方法論Ⅱ、公衆衛生看護活動論の単位を修得していること	
		臨地 実習	看 315	公衆衛生看護実習Ⅰ	4		1				○	原則として、3年次後期までに履修すべき全ての科目と実習の単位を修得していること	
			看 316	公衆衛生看護実習Ⅱ	4		3				○	原則として、3年次後期までに履修すべき全ての科目と実習の単位を修得していること	
		備 考											

科目区分		科目番号	科目名	受講 年次	単位数			授業形態			履修前提科目等
					必修	選択	自由	講義	演習	実習 実験	
共通コア科目	アカデミック スキル	共ア 101	教 養 演 習 I	1	2				○		教養演習 I
		共ア 102	教 養 演 習 II	1	2				○		
		共ア 103	コンピュータ・リテラシー	1	2				○		
		共ア 104	数理・データサイエンス・ A I 入 門	1	2			○			
		共ア 105	アカデミックライティング I	1	2			○			
		共ア 106	アカデミックライティング II	1		2		○			
		共ア 107	アカデミックスキル特別講義	1		2		○			
	備 考		必修科目を含め、10 単位以上修得すること。								
	デザイン ライフ	共ラ 101	大 学 と 人 生	1	2			○			
		共ラ 102	ライフデザイン特別講義	1		2		○			
		共ラ 201	キ ャ リ ア デ ザ イ ン	2		2			○		
		共ラ 202	プ ロ ジ ェ ク ト 学 習	2		2				○	
	備 考		必修科目を含め、2 単位以上修得すること。								
	思想と論理	共思 101	人 間 と 環 境	1		2		○			
		共思 102	生 命 と 倫 理	1		2		○			
		共思 103	科 学 入 門	1		2		○			
		共思 104	論 理 学	1		2		○			
		共思 105	現 代 思 想	1		2		○			
		共思 106	思 想 と 論 理 特 別 講 義	1		2		○			
	備 考		2 単位以上修得すること。								
	沖縄 理解	共沖 101	沖 縄 学	1		2		○			
		共沖 102	沖 縄 の 自 然	1		2		○			
		共沖 103	沖 縄 の 言 語	1		2		○			
		共沖 104	沖 縄 理 解 特 別 講 義	1		2		○			
	備 考		2 単位以上修得すること。								
	科 健康 スポーツ 目 ツ	共健 101	体 育 実 技 I	1		1				○	
		共健 102	体 育 実 技 II	1		1				○	
		共健 103	健 康 ・ ス ポ ー ツ 科 学	1		2		○			
		共健 104	健 康 ス ポ ー ツ 特 別 講 義	1		2		○			
		共健 105	健 康 ス ポ ー ツ 特 別 実 技	1		1				○	
	備 考		2 単位以上修得すること。								
共通選択科目	外国語	共外 101	ベーシック・イングリッシュ	1	2			○			
		共外 102	イングリッシュ・コミュニケーション	1	2			○			
		共外 103	ド イ ツ 語 I	1		2		○			
		共外 104	ド イ ツ 語 II	1		2		○			ドイツ語 I
		共外 105	フ ラ ン ス 語 I	1		2		○			
		共外 106	フ ラ ン ス 語 II	1		2		○			フランス語 I
		共外 107	ス ペ イ ン 語 I	1		2		○			
		共外 108	ス ペ イ ン 語 II	1		2		○			スペイン語 I
		共外 109	ポ ル ト ガ ル 語 I	1		2		○			
		共外 110	ポ ル ト ガ ル 語 II	1		2		○			ポルトガル語 I
		共外 111	中 国 語 I	1		2		○			
		共外 112	中 国 語 II	1		2		○			中国語 I
		共外 113	韓 国 語 I	1		2		○			
		共外 114	韓 国 語 II	1		2		○			韓国語 I
		共外 115	タ イ 語 I	1		2		○			
		共外 116	タ イ 語 II	1		2		○			タイ語 I
		共外 117	外 国 語 特 別 講 義 I	1		2		○			
		共外 118	外 国 語 特 別 講 義 II	1		2		○			
		共外 201	アカデミック英語基礎	2	2			○			

科目区分	科目番号	科目名	受講 年次	単位数			授業形態			履修前提科目等
				必修	選択	自由	講義	演習	実習	
	共外 202	フ ^o ラクティカル・インク ^o リッシュⅠ	2		2		○			
	共外 203	フ ^o ラクティカル・インク ^o リッシュⅡ	2		2		○			
	共外 204	ビ ジ ネ ス 英 語 Ⅰ	2		2		○			
	共外 205	ビ ジ ネ ス 英 語 Ⅱ	2		2		○			
	備 考	必修科目を含め、6 単位以上修得すること。								

[illegible]

【健康情報学科】専門基礎教育科目 / 専門発展科目 / 専門応用科目 / 専門総合科目

科目区分	科目番号	科目名	受講年次	単位数			授業形態			履修前提科目等
				必修	選択	自由	講義	演習	実験実習	
専門基礎教育科目	数学・情報・データサイエンス	情基 101	健康情報数学Ⅰ(入門または演習)	1	2		○			
		情基 102	健康情報統計Ⅰ(入門または演習)	1	2		○			
		情基 103	データサイエンス概論	1	2		○			
		情基 104	コンピュータ概論	1	2		○			
		情基 105	プログラミング基礎	1	2			○		
		情基 106	コンピュータ・グラフィックス	1	2			○		
		情基 201	データベース基礎	2	2		○			
		情基 202	国際ネットワーク論	2	2		○			
	保健・医療・福祉	情基 107	ウェルネス概論	1	2		○			
		情基 108	医療概論及び人体構造・機能	1	2					
		情基 203	公衆衛生学	2	2		○			
		情基 109	医療管理総論	1	2		○			
		情基 204	疫学	2	2		○			
		情基 205	栄養学	2	2		○			
		情基 206	食育と健康	2	2					
		情基 207	保健医療情報学	2	2		○			
		情基 208	社会福祉概論	2	2		○			
		情基 301	体力・健康測定と評価	3	2		○			
	備考	必修科目を含め、20単位以上修得すること。								
専門発展科目	情報科学	情発 201	情報処理論	2	2		○			
		情発 301	システム設計論	3	2		○			
		情発 202	プログラミング応用	2	2			○		
		情発 203	プログラミング応用演習	2	4			○		
		情発 204	アルゴリズム論	2	2		○			
		情発 302	データベース演習	3	2			○		
		情発 205	データ処理入門	2	2			○		
		情発 206	情報化社会論	2	2		○			
		情発 303	インターネットと法	3	2		○			
		情発 207	ネットワーク技術Ⅰ	2	2			○		
		情発 304	ネットワーク技術Ⅱ	3	2			○		
		情発 208	ネットワークの構築と運用	2	2			○		
		情発 305	システム開発技術 (IoT)	3	2			○		
		情発 209	ウェブデザイン	2	2			○		
		情発 210	ウェブコンテンツ実践	2	2			○		
		情発 211	情報と職業	2	2		○			
		情発 306	経営情報論	3	2		○			
		情発 307	産業情報論	3	2		○			
		情発 308	情報セキュリティⅠ	3	2		○			
	データサイエンス	情発 212	健康情報統計Ⅱ	2	2		○			
		情発 213	健康情報統計Ⅲ	2	2		○			
		情発 214	健康情報数学Ⅱ	2	2		○			
		情発 215	健康情報数学Ⅲ	2	2		○			
		情発 216	社会調査法	2	2		○			
		情発 217	AI・データサイエンスⅠ	2	2		○			
		情発 218	AI・データサイエンスⅡ	2	2		○			
		情発 309	医療・生命情報学Ⅰ	3	2		○			
		情発 310	医療・生命情報学Ⅱ	3	2		○			
		情発 311	パターン認識	3	2		○			
		情発 312	画像処理	3	2			○		
		情発 313	自然言語処理	3	2		○			
		情発 314	人工知能	3	2		○			

科目区分	科目番号	科目名	受講 年次	単位数			授業形態			100 履修前提科目等	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験実習		
ヘルスデータ	情発 219	臨床医学総論及び医療用語	2		2						
	情発 220	臨床医学各論Ⅰ	2		2		○				
	情発 221	臨床医学各論Ⅱ	2		2		○				
	情発 315	臨床医学各論Ⅲ	3		2		○				
	情発 316	臨床医学各論Ⅳ	3		2		○				
	情発 222	診療情報管理論Ⅰ	2		2		○				
	情発 223	診療情報管理論Ⅱ	2		2		○				
	情発 224	医療管理各論	2		2		○				
	情発 225	国際統計分類Ⅰ	2		2		○				
	情発 317	国際統計分類Ⅱ	3		2		○				
	情発 226	健康ビッグデータ	2		2						
	情発 227	デジタルヘルス コミュニケーション	2		2			○			
	情発 318	デジタルヘルステクノロジー	3		2			○			
	情発 319	デジタルヘルス イノベーション	3		2			○			
	情発 228	医療統計学	2		2		○				
	備考		30 単位以上修得すること。								
専門応用科目	情発 229	社会心理学	2		2		○				
	情発 230	観光行動論	2		2		○				
	情発 231	マーケティング論	2		2		○				
	情発 320	地域マーケティング論	3		2		○				
	情発 232	市場調査論	2		2		○				
	情発 110	簿記原簿	1		2		○				
	情発 233	会計学原簿	2		2		○				
	情発 321	経営分析論	3		2		○				
	情発 234	経営戦略論	2		2		○				
	情発 235	経営統計学	2		2		○				
	備考		8 単位以上修得すること								
専門総合演習	情特 301	健康情報特別講義Ⅰ	3		2		○				
	情特 401	健康情報特別講義Ⅱ	4		2		○				
	情演 201	病院実務Ⅰ	2		1				○		
	情演 301	病院実務Ⅱ	3		1				○		
	情演 302	病院実務Ⅲ	3		4				○		
	情演 303	健康情報演習（PBLⅠ）	3		2			○			
	情演 304	健康情報演習（PBLⅡ）	3		2			○			
	情演 401	健康情報専門演習Ⅰ	4	4				○			
	情演 402	健康情報専門演習Ⅱ	4	4				○			
	備考		必修科目を含め、14 単位以上修得すること。								

【人間健康学部】外国人留学生対象科目（外国語科目・情報と外国語）

区 分	科目番号	科 目 名	単 位 数			授業形態			受 講 年 次	備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験 実習		
外国人留学生対象科目	外日 101	日本語Ⅰ-1		2		○			1	
	外日 102	日本語Ⅰ-2		2		○			1	
	外日 103	日本語Ⅰ-3		2		○			1	
	外日 104	日本語Ⅰ-4		2		○			1	
	外日 105	日本語Ⅱ-1		2		○			1	
	外日 106	日本語Ⅱ-2		2		○			1	
	外日 107	日本語Ⅱ-3		2		○			1	
	外日 108	日本語Ⅱ-4		2		○			1	
	外日 109	日本語Ⅲ-1		2		○			1	
	外日 110	日本語Ⅲ-2		2		○			1	
	外日 111	日本語Ⅲ-3		2		○			1	
	外日 112	日本語Ⅲ-4		2		○			1	
	外日 113	日本語Ⅳ-1		2		○			1	
	外日 114	日本語Ⅳ-2		2		○			1	
	外日 115	日本語Ⅳ-3		2		○			1	
	外日 116	日本語Ⅳ-4		2		○			1	
	外日 117	留学生のためのアカデミックライティング		2		○			1	
	外日 118	日本語演習		2				○	1	
	外日 119	日本事情Ⅰ		2		○			1	
	外日 120	日本事情Ⅱ		2		○			1	
	外日 121	日本事情Ⅲ		2		○			1	
	備考									

【人間健康学部スポーツ健康学科】副専攻（地域マネジメント）の履修要件を示す科目

区 分		科目番号	科 目 名	受 講 年 次	単 位 数			備 考
					必修	選択	自由	
全学共通	アカデミックスキル	共ア 101	教 養 演 習 I	1	2			「教養演習Ⅰ」、「大学と人生」、「プロジェクト学習」を含め8単位以上履修すること。
	ライフデザイン	共ラ 101	大 学 と 人 生	1	2			
		共ラ 202	プ ロ ジ ェ ク ト 学 習	2	2			
	沖縄理解	共沖 101	沖 縄 学	1		2		
		共沖 102	沖 縄 の 自 然	1		2		
		共沖 103	沖 縄 の 言 語	1		2		
		共沖 104	沖 縄 理 解 特 別 講 義	1		2		
スポーツ健康学科	専門基礎 教育科目	ス基 101	ス ポ ー ツ 健 康 学 総 論	1	2			8単位以上履修すること。
		ス基 102	ス ポ ー ツ 健 康 演 習	1	2			
		ス基 103	ウ ェ ル ネ ス 概 論	1	2			
		ス基 206	生 涯 ス ポ ー ツ 論	1	2			
	専門教育科目	ス専 214	安 全 管 理 論 及 び 方 法	2		2		「地域ウェルネスプロジェクト」を含め8単位以上履修すること。
		ス専 215	野 外 教 育 論	2		2		
		ス専 216	レジャー・レクリエーション論	2		2		
		ス専 244	グ ロ ー バ ル ヘ ル ス	2		2		
		ス専 368	琉 球 舞 踊	3		1		
		ス専 273	ウ イ ン ド サ ー フ ィ ン	2		1		
		ス専 380	地域ウェルネスプロジェクト	3	2			

※履修条件に沿って24単位以上履修すること。

【人間健康学部看護学科】副専攻（地域マネジメント）の履修要件を示す科目

区 分		科目番号	科 目 名	受 講 年 次	単 位 数			備 考
					必修	選択	自由	
全学共通	アカデミックスキル	共ア 101	教 養 演 習 I	1	2			「教養演習Ⅰ」、「大学と人生」、「プロジェクト学習」を含め8単位以上履修すること。
	ライフデザイン	共ラ 101	大 学 と 人 生	1	2			
		共ラ 202	プ ロ ジ ェ ク ト 学 習	2	2			
	沖縄理解	共沖 101	沖 縄 学	1		2		
		共沖 102	沖 縄 の 自 然	1		2		
		共沖 103	沖 縄 の 言 語	1		2		
		共沖 104	沖 縄 理 解 特 別 講 義	1		2		
看護学科	専門基礎 教育科目	看 125	公 衆 衛 生 学	2		2		6単位以上履修すること。
		看 127	疫 学	2		2		
		看 128	保 健 福 祉 行 政 論 I	2		2		
		看 130	産 業 保 健 学	2		1		
	専門教育科目	看 212	沖 縄 の 文 化 と 看 護	2		1		10単位以上履修すること。
		看 215	島 嶼 ・ 過 疎 地 看 護 論	2		1		
		看 279	卒 業 研 究	4		2		
		看 288	公 衆 衛 生 看 護 学 概 論 I	2		1		
		看 291	ケ ア リ ン グ 文 化 実 習 I	1		1		
		看 292	ケ ア リ ン グ 文 化 実 習 II	1		1		
		看 293	ケ ア リ ン グ 文 化 実 習 III	2		1		
		看 297	地 域 ・ 在 宅 看 護 実 習	3		2		
		看 311	公 衆 衛 生 看 護 活 動 論	3		1		
		看 312	公 衆 衛 生 看 護 方 法 論 I	3		2		
		看 313	公 衆 衛 生 看 護 方 法 論 II	3		2		
		看 314	公 衆 衛 生 看 護 管 理 論	4		1		
		看 315	公 衆 衛 生 看 護 実 習 I	4		1		
		看 316	公 衆 衛 生 看 護 実 習 II	4		3		

※履修条件に沿って24単位以上履修すること。

	区分	科目番号	科目名	受講 年次	単位数			備考
					必修	選択	自由	
全学共通	教養	共ア 101	教養演習Ⅰ	1	2			「教養演習Ⅰ」、「大学と人生」、「プロジェクト学習」を含め 8 単位以上履修すること。
	ライフデザイン	共ラ 101	大学と人生	1	2			
		共ラ 204	プロジェクト学習	2	2			
	沖縄理解	共沖 101	沖縄学	1		2		
		共沖 102	沖縄の自然	1		2		
		共沖 103	沖縄の言語	1		2		
		共沖 104	沖縄理解特別講義	1		2		
健康情報学科	専門基礎教育科目	情基 103	データサイエンス概論	1	2			「データサイエンス概論」「ウエルネス概論」「公衆衛生学」を含め 8 単位以上履修すること。
		情基 202	国際ネットワーク論	2		2		
		情基 107	ウエルネス概論	1	2			
		情基 203	公衆衛生学	2	2			
		情基 204	疫学	2		2		
		情基 208	社会福祉概論	2		2		
	専門発展科目・専門総合科目・専門応用科目	情発 303	インターネットと法	3		2		8 単位以上履修すること。
		情発 216	社会調査法	2		2		
		情発 217	AI・データサイエンスⅠ	2		2		
		情発 227	デジタルヘルスコミュニケーション	2		2		
		情発 318	デジタルヘルステクノロジー	3		2		
		情発 319	デジタルヘルスイノベーション	3		2		
		情演 302	病院実務Ⅲ	3		4		
		情演 303	健康情報演習 (PBLⅠ)	3		2		
		情演 304	健康情報演習 (PBLⅡ)	3		2		
		情応 231	マーケティング論	2		2		
		情応 320	地域マーケティング論	2		2		
		情応 232	市場調査論	2		2		

※履修条件に沿って 2 4 単位以上履修すること。

【全学共通科目】教職に関する科目

区分	科目 番号	科 目 名	受講 年次	単位数			履修前提科目等
				必修	選択	自由	
各 教 科 の 指 導 法	教英 301	英 語 科 教 育 法 I	3			4	
	教英 302	英 語 科 教 育 法 II	3			4	英語科教育法 I
	教地 301	地 理 歴 史 科 教 育 法 I	3			2	
	教地 302	地 理 歴 史 科 教 育 法 II	3			2	地理歴史科教育法 I
	教商 301	商 業 科 教 育 法 I	3			2	
	教商 302	商 業 科 教 育 法 II	3			2	商業科教育法 I
	教保 301	保 健 体 育 科 教 育 法 I	3			2	
	教保 302	保 健 体 育 科 教 育 法 II	3			2	保健体育科教育法 I
	教保 303	保 健 体 育 科 教 育 法 III	3			2	保健体育科教育法 II
	教保 304	保 健 体 育 科 教 育 法 IV	3			2	保健体育科教育法 III
	教情 301	情 報 科 教 育 法 I	3			2	
	教情 302	情 報 科 教 育 法 II	3			2	情報科教育法 I
教育の基礎的理解に 関する科目	教共 101	教 育 原 理	1			2	
	教共 102	教 職 概 論	1			2	
	教共 201	教 育 制 度 論	2			2	
	教共 202	教 育 心 理 学	2			2	
	教共 203	特 別 支 援 教 育	2			2	
	教共 204	教 育 課 程 論	2			2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法 及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教共 301	道 徳 教 育 の 理 論 と 方 法	3			2	※中免・養護のみ
	教共 205	総合的な学習の時間の指導法	2			2	
	教共 206	特 別 活 動 の 指 導 法	2			2	
	教共 302	教 育 方 法 (I C T の 活 用 を 含 む 。)	3			2	
	教共 303	生 徒 指 導 の 理 論 及 び 方 法	3			2	
	教共 304	教 育 相 談	3			2	
	教共 305	進 路 指 導 論	3			2	※養護は除く

区分	科目 番号	科 目 名	受講 年次	単位数			履修前提科目等
				必修	選択	自由	
教育（養護） 実践に関する科目	教実 301	中 学 校 教 育 実 習 事 前 指 導	3			1	※中免のみ ※事後指導含む
	教実 302	高 等 学 校 教 育 実 習 事 前 指 導	3			1	※高免のみ ※事後指導含む
	養実 301	養 護 実 習 事 前 指 導	3			1	※養護のみ
	教実 401	中 学 校 教 育 実 習	4			4	
	教実 402	高 等 学 校 教 育 実 習	4			2	
	養実 401	養 護 実 習	4			4	※養護のみ
	教実 403	教 職 実 践 演 習 （ 中 ・ 高 ）	4			2	※養護は除く
	養実 402	教 職 実 践 演 習 （ 養 護 ）	4			2	※養護のみ
大学が独自に 設定する科目	教自 301	介 護 等 体 験	3			1	※社会福祉施設 ※特別支援学校
備 考		※取得を希望する免許状の種類によって履修要件が異なるため、細心の注意を払って履修すること。					

別表 10（第 2 条 2 関係）教育職員免許状の所要資格に必要な授業科目の種類、単位数及び必修又は選択の別

1 中学校教諭一種免許状（保健体育）

教育職員免許法施行規則に定める科目区分及び免許状取得に必要な最低単位数				授業科目の名称		単位数		本学における免許状取得に必要な最低単位数	備考
科目区分			単位数			必修	選択		
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	体育実技	教育の基礎的理解に関する科目 27 単位 教科及び教科の指導法に関する科目 28 単位 大学が独自に設定する科目 4 単位	体づくり運動	1			20 単位以上 必修 19 単位のほか、選択から 1 単位以上を修得すること。 ※ ² 3 科目の中から 1 科目以上修得すること。 ※ ³ 2 科目の中から 1 科目以上修得すること。	必修及び選択の別は、教育職員免許状を取得する上での必修・選択の別であり、卒業要件としての必修・選択の別とは異なるものであること。
				器械運動	1				
				陸上競技	1				
				水泳	1				
				バスケットボール			1		
				サッカー			1		
				ハンドボール			1		
				バレーボール			1		
				卓球		1	1		
				ソフトボール			1		
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	体育実技	教育の基礎的理解に関する科目 27 単位 教科及び教科の指導法に関する科目 28 単位 大学が独自に設定する科目 4 単位	空手			1	20 単位以上 必修 19 単位のほか、選択から 1 単位以上を修得すること。 ※ ² 3 科目の中から 1 科目以上修得すること。 ※ ³ 2 科目の中から 1 科目以上修得すること。	必修及び選択の別は、教育職員免許状を取得する上での必修・選択の別であり、卒業要件としての必修・選択の別とは異なるものであること。
				柔道			1		
				剣道			1		
				舞踊			1		
				琉球舞踊			1		
				スキー・スノーボード			1		
				ウインドサーフィン			1		
				運動学	2				
				体育原理	2				
				体育心理学			2		
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	体育実技	教育の基礎的理解に関する科目 27 単位 教科及び教科の指導法に関する科目 28 単位 大学が独自に設定する科目 4 単位	体育社会学			2	20 単位以上 必修 19 単位のほか、選択から 1 単位以上を修得すること。 ※ ² 3 科目の中から 1 科目以上修得すること。 ※ ³ 2 科目の中から 1 科目以上修得すること。	必修及び選択の別は、教育職員免許状を取得する上での必修・選択の別であり、卒業要件としての必修・選択の別とは異なるものであること。
				体育・スポーツ史			2		
				野外教育論			2		
				生理学（運動生理学を含む。）	2				
				生理学・運動生理学	2				
				衛生学・公衆衛生学	2				
				学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）	2				
				精神保健	2				
				救急処置	2				
				保健体育科教育法Ⅰ	2				
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	体育実技	教育の基礎的理解に関する科目 27 単位 教科及び教科の指導法に関する科目 28 単位 大学が独自に設定する科目 4 単位	保健体育科教育法Ⅱ	2			12	必修及び選択の別は、教育職員免許状を取得する上での必修・選択の別であり、卒業要件としての必修・選択の別とは異なるものであること。
				保健体育科教育法Ⅲ	2				
				保健体育科教育法Ⅳ	2				
				教職概論	2				
				教育原理	2				
				教育制度論	2				
				教育心理学	2				
				特別支援教育	2				
				教育課程論	2				
				教育の基礎的理解に関する科目					

関する科目等	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目		総合的な学習の時間の指導法	2		14	(事後指導含む)
			特別活動の指導法	2			
			道徳教育の理論と方法	2			
			教育方法(ITCの活用を含む。)	2			
			生徒指導の理論及び方法	2			
			教育相談	2			
			進路指導論	2			
	教育実践に関する科目		中学校教育実習事前指導	1		7	
			中学校実習	4			
			教職実践演習(中・高)	2			
大学が独自に設定する科目 ※ ¹			介護等体験	1		4	
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法		憲法	2			
	体育		体育実技Ⅰ	1			
			体育実技Ⅱ	1			
	外国語コミュニケーション		ベーシック・イングリッシュ	2			
			イングリッシュ・コミュニケーション	2			
	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作		コンピュータ・リテラシー	2			

※¹「大学が独自に設定する科目」の最低修得単位数は、4単位である。

「教育の基礎的理解に関する科目等」又は「教科及び教科の指導法に関する科目」の超過修得単位数については、「大学が独自に設定する科目」の修得単位数として換算される。

2 高等学校教諭一種免許状（保健体育）

教育職員免許法施行規則に定める科目区分及び免許状取得に必要な最低単位数				授業科目の名称		単位数		本学における免許状取得に必要な最低単位数	備考
科目区分			単位数			必修	選択		
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	体育実技	教育の基礎的理解に関する科目23単位 教科及び教科の指導法に関する科目24単位 大学が独自に設定する科目12単位	体づくり運動		1		20単位以上 必修19単位のほか、選択から1単位以上を修得すること。 ※ ² 3科目の中から1科目以上修得すること。 ※ ³ 2科目の中から1科目以上修得すること。	必修及び選択の別は、教育職員免許状を取得する上での必修・選択の別であり、卒業要件としての必修・選択の別とは異なるものであること。
				器械運動		1			
				陸上競技		1			
				水泳		1			
				バスケットボール	※ ²		1		
				サッカー			1		
				ハンドボール	※ ³		1		
				バレーボール			1		
				卓球	※ ⁴	1	1		
				ソフトボール			1		
				空手	※ ⁵		1		
				柔道			1		
				剣道	※ ⁶		1		
				舞踊			1		
				琉球舞踊	※ ³		1		
				スキー・スノーボード			1		
				ウインドサーフィン			1		
				運動学		2			
				体育原理		2			
				体育心理学	※ ⁶		2		
				体育社会学			2		
				体育・スポーツ史			2		
				野外教育論			2		
				生理学（運動生理学を含む。）		2			
				衛生学・公衆衛生学		2			
				救急処置		2			
				学校保健		2			
				精神保健		2			
				保健体育科教育法Ⅰ		2			
				保健体育科教育法Ⅱ		2			
				保健体育科教育法Ⅲ			2		
				保健体育科教育法Ⅳ			2		
教育の基礎的理解に	教育の基礎的理解に関する科目			教職概論		2		12	
				教育原理		2			
				教育制度論		2			
				教育心理学		2			
				特別支援教育		2			
				教育課程論		2			

関する科目等	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目		総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法 教育方法 (ICTの活用を含む。) 生徒指導の理論及び方法 教育相談 進路指導論	2 2 2 2 2 2		12	(事後指導含む)
	教育実践に関する科目		高等学校教育実習事前指導 高等学校実習教職実践演習 (中・高)	1 2 2		5	
	大学が独自に設定する科目 ※ ¹			—		12	
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法		憲法	2			
	体育		体育実技Ⅰ 体育実技Ⅱ	1 1			
	外国語コミュニケーション		ベーシック・イングリッシュ イングリッシュ・コミュニケーション	2 2			
	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作		コンピュータ・リテラシー	2			

※¹ 「大学が独自に設定する科目」の最低修得単位数は、12単位である。

「教育の基礎的理解に関する科目等」又は「教科及び教科の指導法に関する科目」の超過修得単位数については、「大学が独自に設定する科目」の修得単位数として換算される。

3 養護教諭一種免許状

教育職員免許法施行規則に定める科目区分及び免許状取得に必要な最低単位数			授業科目の名称	単位数		本学における免許状取得に必要な最低単位数	備考	
科目区分		単位数		必修	選択			
養護に関する科目	衛生学・公衆衛生学（予防医学を含む。）	教育の基礎的理解に関する科目21単位	衛生学・公衆衛生学	2		20単位以上 必修16単位のほか、選択から4単位以上を修得すること。	必修及び選択の別は、教育職員免許状を取得する上での必修・選択の別であり、卒業要件としての必修・選択の別とは異なるものであること。	
	学校保健		衛生学・公衆衛生学演習	2				
	養護概説		学校保健	2				
	健康相談活動の理論・健康相談活動の方法		養護概説					
	栄養学（食品学を含む。）	教科及び教科の指導法に関する科目28単位	健康相談活動の理論及び方法	2				2
	解剖学・生理学		栄養学 スポーツ栄養学	2	2			
	「微生物学、免疫学、薬理概論」	大学が独自に設定する科目7単位	解剖学 生理学・運動生理学	2 2				2
	精神保健		微生物学 免疫学	2	2			
	看護学（臨床実習及び救急処置を含む。）		精神保健	2				
			看護学（臨床実習及び救急処置を含む。）	救急処置	2			
看護学Ⅰ				2				
看護学Ⅱ				2				
学校救急看護学				2				
看護臨床実習Ⅰ				2				
看護臨床実習Ⅱ	2							
教育の基礎的理解に関する科目等	教育の基礎的理解に関する科目	大学が独自に設定する科目 ※ ¹	教職概論	2		12		
			教育原理	2				
			教育制度論	2				
			教育心理学	2				
			特別支援教育	2				
			教育課程論	2				
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目		総合的な学習の時間の指導法	2		12		
			特別活動の指導法	2				
			教育方法（ITCの活用を含む。）	2				
			生徒指導の理論及び方法	2				
教育実践に関する科目	教育相談		2		7			
	進路指導論		2					
大学が独自に設定する科目 ※ ¹			高等学校教育実習事前指導	1		7		
			養護実習（事後指導含む）	4				
			教職実践演習（中・高）	2				
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法			憲法	2			
	体育			体育実技Ⅰ	1			
			体育実技Ⅱ	1				
	外国語コミュニケーション		ベーシック・イングリッシュ イングリッシュ・コミュニケーション	2 2				
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作		コンピュータ・リテラシー	2				

※¹「大学が独自に設定する科目」の最低修得単位数は、7単位である。

「教育の基礎的理解に関する科目等」又は「教科及び教科の指導法に関する科目」の超過修得単位数については、「大学が独自に設定する科目」の修得単位数として換算される。

4 高等学校教諭一種免許状（情報）

教育職員免許法施行規則に定める科目区分及び免許状取得に必要な最低単位数				授業科目の名称	単位数		本学における免許状取得に必要な最低単位数	備考
科目区分			単位数		必修	選択		
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	情報社会・情報倫理	教育の基礎的理解に関する科目23単位 教科及び教科の指導法に関する科目24単位 大学が独自に設定する科目12単位	情報科学と社会	2			必修及び選択の別は、教育職員免許状を取得する上での必修・選択の別であり、卒業要件としての必修・選択の別とは異なるものであること。
		コンピュータ・情報処理（実習を含む。）		情報化社会論	2			
				プログラミング基礎	2			
				コンピュータ概論	2			
				アルゴリズム論	2			
				情報処理論	2			
				プログラミング応用	2			
	情報システム（実習を含む。）		データベース基礎	2		2		
			データベース演習			2		
			経営情報論			2		
			システム設計論	2				
	情報通信ネットワーク（実習を含む。）		国際ネットワーク論	2		2		
			ネットワークの構築と運用	2		2		
		ネットワーク技術Ⅰ ネットワーク技術Ⅱ						
マルチメディア表現・マルチメディア技術（実習を含む。）		コンピュータグラフィックス	2		2			
		ウェブデザイン			4			
		プログラミング応用演習						
情報と職業		情報と職業	2					
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		情報科教育法Ⅰ	2				
			情報科教育法Ⅱ	2				
教育の基礎的理解に関する科目等	教育の基礎的理解に関する科目		教職概論	2		12	(事後指導を含む。)	
			教育原理	2				
			教育制度論	2				
			教育心理学	2				
			特別支援教育	2				
			教育課程論	2				
			道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な学習の時間の指導法	2			
	特別活動の指導法	2						
	教育方法（ICTの活用を含む。）	2						
	生徒指導の理論及び方法	2						
	教育相談	2						
	進路指導論	2						
	教育実践に関する科目		高等学校教育実習事前指導	1		5		
高等学校教育実習			2					
教職実践演習（中・高）			2					
大学が独自に設定する科目 ※ ¹					—		12	

（事後指導を含む。）

教育職員免許法 施行規則第66条 の6に定める科 目	日本国憲法		憲法	2			
	体育		体育実技Ⅰ 体育実技Ⅱ	1 1			
	外国語コミュニ ケーション		ベーシック・イングリッシュ イングリッシュ・コミュニケーション	2 2			
	数理、データ活用 及び人工知能に関 する科目又は情報 機器の操作		コンピュタ・リテラシー	2			

※¹「大学が独自に設定する科目」の最低修得単位数は、12単位である。

「教育の基礎的理解に関する科目等」又は「教科及び教科の指導法に関する科目」の超過修得単位数については、「大学が独自に設定する科目」の修得単位数として換算される。

【スポーツ健康学科】

授 業 科 目 の 区 分			必 修	選 択	卒業に必要な単位	小 計
教 養 教 育 科 目	共通コア科目	アカデミックスキル科目	8	0	8 単位	32 単位以上
		ライフデザイン科目	2	0	2 単位以上	
		思想と論理科目	0	2	2 単位以上	
		沖縄理解科目	0	2	2 単位以上	
		健康スポーツ科目	0	2	2 単位以上	
	共通選択科目	外国語科目	6	2	8 単位以上	
		国際理解科目	0	2	2 単位以上	
		人文科学科目	0	2	2 単位以上	
		社会科学科目	0	2	2 単位以上	
		自然科学科目	0	2	2 単位以上	
専 門 基 礎 教 育 科 目			12	10	22 単位以上	22 単位以上
専 門 教 育 科 目			8	52	60 単位以上	60 単位以上
自 由 選 択 科 目			0	10	10 単位以上	10 単位以上
卒 業 に 必 要 な 単 位			36	88	124 単位以上	

【備考】 自由選択科目にライフデザイン科目、専門基礎教育科目、専門科目及び教職に関する科目を含めることができる。

【看護学科】

科目区分			必修	選択	卒業に必要な単位	小計
教養教育科目	共通コア	アカデミックスキル	8	0	8 単位以上	28 単位以上
		ライフデザイン	2	0	2 単位以上	
		思想と論理	0	2	2 単位以上	
		沖縄理解	0	2	2 単位以上	
		健康・スポーツ	0	2	2 単位以上	
	共通選択	外国語	2	2	4 単位以上	
		国際理解	0	2	8 単位以上 (統計学のみ必修)	
		人文科学	0	2		
		社会科学	0	2		
		自然科学	2	0		
専門基礎教育科目	専門基礎分野	人体の構造と機能 疾病の成り立ちと回復の促進	18	0	18 単位以上	26 単位以上
		健康支援と社会保障制度	8	0	8 単位以上	
専門教育科目	専門分野	基礎看護学	11	0	11 単位	77 単位以上
		地域・在宅看護学	6	0	6 単位	
		成人看護学	6	0	6 単位	
		母性看護学	4	0	4 単位	
		小児看護学	4	0	4 単位	
		高齢者看護学	4	0	4 単位	
		精神看護学	4	0	4 単位	
		看護の総合と実践	15	0	15 単位以上	
	臨地実習		23	0	23 単位	
卒業に必要な単位			117	14	131 単位以上	

【健康情報学科】

授 業 科 目 の 区 分		必 修	選 択	卒業に必要な単位	小 計	
教 養 教 育 科 目	共通コア科目	アカデミックスキル科目	10	0	10 単位	32 単位以上
		ライフデザイン科目	2	0	2 単位以上	
		思想と論理科目	0	2	2 単位以上	
		沖縄理解科目	0	2	2 単位以上	
		健康スポーツ科目	0	2	2 単位以上	
	共通選択科目	外国語科目	6	0	6 単位以上	
		国際理解科目	0	2	2 単位以上	
		人文科学科目	0	2	2 単位以上	
		社会科学科目	0	2	2 単位以上	
		自然科学科目	0	2	2 単位以上	
専 門 基 礎 教 育 科 目		16	4	20 単位以上	20 単位以上	
専 門 発 展 科 目		0	30	30 単位以上	30 単位以上	
専 門 応 用 科 目		0	8	8 単位以上	8 単位以上	
専 門 総 合 科 目		8	6	14 単位以上	14 単位以上	
自 由 選 択 科 目		0	20	20 単位以上	20 単位以上	
卒 業 に 必 要 な 単 位		36	88	124 単位以上		

【備考】 自由選択科目にライフデザイン科目、専門基礎教育科目、専門科目及び教職に関する科目を含めることができる。